

# いいだ未来デザイン2028戦略計画

【平成29(2017)年度】

長野県飯田市

## 目次

1	若者が帰ってこられる産業をつくる	1
1-①	「新たな産業振興の拠点」の形成	
1-②	新たな産業分野、地域産業の高付加価値化への挑戦	
1-③	地域産業の担い手確保	
1-④	企業用地の整備と戦略的な企業誘致の推進	
2	飯田市への人の流れをつくる	5
2-①	飯田だから実現できるライフスタイルの提案	
2-②	【再掲】ふるさとパワーアップ！20地区の個性を輝かせる(20地区「田舎へ還ろう戦略」支援事業)	
2-③	「結いのまち」飯田においでなんしょ	
2-④	地域ブランドの構築と飯田の魅力が伝わるプロモーション	
2-⑤	魅力的な中心拠点の形成	
3	地育力が支える学び合いで、生きる力を持ち、心豊かな人材を育む	12
3-①	飯田らしい小中連携・一貫教育の推進	
3-②	地域と学校がつながる飯田コミュニティスクールの立ち上げと推進	
3-③	LG(地域・地球)飯田教育の充実	
3-④	ICTを活用した教育課題への対応	
3-⑤	高校生を対象とした地域人教育の推進	
4	自然と歴史を守りいかし伝え、新たな文化をつくりだす	16
4-①	「伊那谷の自然と文化」への玄関口 飯田市美術博物館の魅力度アップ	
4-②	国指定の史跡名勝の保存・整備・活用	
4-③	人形劇の世界都市としての推進力・求心力の向上	
4-④	「地域振興の知の拠点」の形成に向けた取組みの推進	
4-⑤	遠山郷の魅力の顕在化と情報発信	
5	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	21
5-①	信頼と絆で応援、健康な子育てのまちづくりの推進	
5-②	すべての子どもの安心と希望の実現(子どもの貧困対策)	
5-③	「飯田版！上質な子育て環境」づくり	
5-④	結婚したいと思う若者へのライフデザイン支援	
6	「市民総健康」と「生涯現役」をめざす	25
6-①	地域、家族とともに進める健康づくり	
6-②	介護予防の推進	
6-③	みんなで食べよう楽しい食事(食育の推進)	
6-④	歩こう動こう プラステン(+10分)	
6-⑤	歯と口の健康づくり	
7	共に支え合い、自ら行動する地域福祉を充実させる	29
7-①	多様な主体による日常生活における支援	
7-②	認知症の人とその家族を支援する連携機能の充実	
7-③	地域とともに創る障がい児・者との共生社会の実現	
8	新時代に向けたこれからの地域経営の仕組みをつくる	33
8-①	ふるさとパワーアップ！20地区の個性を輝かせる(20地区「田舎へ還ろう戦略」支援事業)	
8-②	地域課題に対応するための事業体の立ち上げと運営の支援	
8-③	地域自治を守り育むための仕組みづくり	
8-④	中山間地域をもっと元気に見てみまいか	

<p>9 個性を尊重し、多様な価値観を認め合いながら、交流する</p> <p>9-① 誰もが安心して地域で活躍できる、ひと・まちづくり</p> <p>9-② 市民活動団体のパワーアップ！</p> <p>9-③ 共生のためのユニバーサルデザイン</p> <p>9-④ 多様性を地域に活かす言語バリアフリー</p>	<p>37</p>
<p>10 豊かな自然と調和し、低炭素な暮らしをおくる</p> <p>10-① 環境意識を醸成する人づくり地域づくり</p> <p>10-② 再生可能エネルギーで進める持続可能な地域づくり</p> <p>10-③ リニア時代を見据えた低炭素な地域づくり</p> <p>10-④ 地域ぐるみで取り組むエコ活動・エコライフの推進</p> <p>10-⑤ ユネスコエコパークから広がる森と動植物の保全</p> <p>10-⑥ リニア時代を見据えた生活環境保全</p>	<p>40</p>
<p>11 災害に備え、社会基盤を強化し、防災意識を高める</p> <p>11-① 命と生活を守る市民防災力の向上</p> <p>11-② みんなが安心して暮らせる防災・減災のまちづくり</p> <p>11-③ 緊急・災害時の情報伝達や収集機能の向上</p> <p>11-④ 災害時にも都市機能が維持できる社会基盤の戦略的強靱化</p>	<p>46</p>
<p>12 リニア時代を支える都市基盤を整備する</p> <p>12-① 「信州・伊那谷の個性で世界を惹きつけ、世界へ発信する玄関口」としてのリニア駅周辺の整備</p> <p>12-② 駅勢圏(駅の利用が見込まれる地域)拡大に向けた道路ネットワークの強化</p> <p>12-③ リニア時代を見据えた土地利用計画の策定</p> <p>12-④ リニア事業に関連する社会基盤の整備</p> <p>12-⑤ リニアの二次交通の構築及び持続可能な地域公共交通の実現</p> <p>12-⑥ リニア時代を見据えたICTの活用とその基盤の整備</p>	<p>50</p>

<b>基本目標</b>	<b>1 若者が帰ってこられる産業をつくる</b>
<b>戦略 (考え方)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 地域産業の持続的発展に資する研究開発力の強化を図るとともに、新産業の創出、地域産業の高付加価値化への挑戦を支援します。</li> <li>◆ 長野県や南信州広域連合などと連携協調し、地域の産業拠点としての「産業振興の知の拠点」整備を推進します。</li> <li>◆ 地域産業の将来を支える担い手・起業家の育成に取り組みます。</li> </ul>

**進捗状況確認指標**

指標(単位) 把握方法	基準	進捗			目標
	H28	H29	H30	H31	H32
学卒者の地域内回帰・定着率(%) 新規学卒者の地元就職の数	38.9	-	-	-	50.0

**29年度戦略(具体的な取組)**

<b>① 「新たな産業振興の拠点」の形成</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 旧飯田工業高校施設に(公財)南信州・飯田産業センターを移転するとともに、公的試験場機能を高め、関係機関と連携しながら様々な「知」が集積する産業振興の拠点を整備します。そのために、旧飯田工業高校の施設改修工事を南信州広域連合から事務の委託を受けて実施します。</li> <li>◇ 旧飯田工業高校施設を活用して実施される信州大学航空機システム共同研究講座を支援し、航空機分野において世界に通用する高度な人材育成につなげます。</li> <li>◇ 公的試験場機能の試験検査評価機器を有効に活用して研究開発を推進し、開発から事業化までを一貫して支援するシステムを目指します。</li> </ul>
<b>主管課/主な関係課</b>
工業課/企画課、地域計画課、財政課

当事者目標 番号/ア.何を/イ.いつまでに/ウ.どのような状態にする	取組のポイント	連携する主な団体 及び期待する役割
(1) ア 旧飯田工業高校の体育館棟 イ 年度中 ウ ホール機能・公的試験場機能の整備を完了する	・体育館棟改修によりホール機能・公的試験場機能を整備拡充し、企業の研究開発に向けた施設を実施する。	長野県(事業支援)、南信州広域連合(整備主体)、(公財)南信州・飯田産業センター(拠点運営)
(2) ア 航空機分野の高度人材育成と航空機システム研究 イ 年度中 ウ 信州大学航空機システム共同研究講座による高度人材育成、共同研究が十分に行える支援体制を作る。	・信州大学航空機システム共同研究講座での高度人材育成と航空機システム研究開発を実施する。 ・産学金によるコンソーシアムへの加入促進を図る。	信州大学(実施主体)、信州大学航空機システム共同研究講座コンソーシアム(産官金による運営支援)
(3) ア 産業センターが所有・導入する試験機器等 イ 年度中 ウ 機能を強化し、製品開発に向けて、企業等による利用を促進する。	・環境試験機器の導入を図り、試験精度の向上に努める。また、利用促進に向けた積極的なPRを実施する	長野県(整備主体)、南信州広域連合(整備主体)、(公財)南信州・飯田産業センター(運営)

当事者目標を実現する経費(該当する事務事業の総額)				(千円)
当事者目標(番号)	事務事業名	主管課	当初予算事業費	当初予算一般財源
(1)(2)(3)	産業振興と人材育成の拠点整備事業	工業課	611,043	62,043
		計	611,043	62,043

② 新たな産業分野、地域産業の高付加価値化への挑戦

- ◇ 航空宇宙産業分野のほか、健康医療・食品産業・農林業などの各分野で、異業種が連携した新たな産業クラスターの形成を推進し、商品開発を推進するとともに、販路の拡大により外貨を獲得して、さらなる新分野への進出と雇用の拡大につなげます。
- ◇ 地理的表示(GI)保護制度に登録された市田柿をはじめとした世界に発信できる地域ブランド・地域産品の魅力を活かして、農畜産物の産地強化の支援や海外も視野に入れた新たなマーケットへの展開を推進します。

主管課／主な関係課

工業課／農業課、林務課

当事者目標 番号／ア. 何を／イ. いつまでに／ウ. どのような状態にする	取組のポイント	連携する主な団体 及び期待する役割
(1) ア 航空宇宙産業クラスターに参加する企業及び従業員 イ 年度中 ウ 航空機システム分野への参入、共同受注による受注量の拡大。また、それに携わる高度な専門人材を育成する。	・ワーキンググループによるプロジェクト事業の具体化支援、研究開発・受注拡大支援を実施する。また、支援機関と連携し航空機産業分野での高度人材育成事業を実施する。	(公財)南信州・飯田産業センター(支援機関) 飯田航空宇宙プロジェクト、エアロスペース飯田、中核企業、飯田精密機械工業会、飯田電子工業会(事業実施者)
(2) ア メディカルバイオクラスターに参加する企業 イ 年度中 ウ 地域産品を活用した健康食品の共同研究や新商品の開発に取り組む	・ワークショップを通じたプロジェクト事業の具体化を図り、医療福祉現場などでの情報収集から、課題解決のための研究開発・新商品開発を支援する。	(公財)南信州・飯田産業センター、飯田商工会議所(支援機関) 飯田メディカルバイオクラスター、南信州食品産業協議会、飯田精密機械工業会、飯田電子工業会、(事業実施者)
(3) ア 食品産業など地域に根付いた企業 イ 年度中 ウ 異業種連携によるクラスター形成に向けて、共同研究を行うことにより、地域産品を活用した新商品開発と販路拡大を進める。	・研究開発・販路開拓・農産物の新商品開発や商談会等への出展を支援するとともに、シンポジウムやコンテストを開催し情報発信を行う。	(公財)南信州・飯田産業センター、飯田商工会議所、(支援機関)飯田メディカルバイオクラスター、飯田水引協同組合、南信州食品産業協議会、つぼほまれ栽培・加工研究会、飯田精密機械工業会、飯田電子工業会(事業実施者)
(4) ア 地域産材を使用した住宅づくり イ 年度中 ウ 森林認証による南信州の木のブランド化を進め、地域に適した省エネモデル仕様を活用した提案ができる体制を整える	・飯伊地区森林認証協議会を設立し、認証材の活用方法を明らかにする。 ・建築士会の青年部等によるモデル仕様の研究結果を、住宅プランで活用していくためのルールづくりを行う。	下伊那山林協会(協議会事務局) 財産区・生産森林組合・森林所有者個人(協議会の構成員) 飯伊地域林業活性化協議会(団体間の調整) 建築士会(モデル仕様づくり) 建築事務所協会・宅建協会(住宅プランづくり)
(5) ア 農畜産物の産地強化・新マーケット開拓 イ 年度中 ウ 生産基盤の強化を図るとともに、三遠南信の地域連携等による海外マーケット展開の取組等、販路拡大を推進する	○産地強化 ・市田柿等の果樹、野菜、花卉等の生産基盤強化への支援 ・推奨品目苗木等の導入支援 ○新マーケット開拓 ・マーケティング展開とブランド推進 ・国内外バイヤーとの商談会等、販路拡大機会への参加 ・食品産業界等と連携した海外展開	長野県・下伊那農業改良普及センター(技術指導、販路拡大連携) 生産団体、農業者(法人含む)(産地強化や販路拡大の連携) (公財)南信州・飯田産業センター(食品産業界との調整) 飯田市農業振興センター(連携) 三遠南信地域(豊橋市・浜松市)(連携)

当事者目標を実現する経費(該当する事務事業の総額) (千円)

当事者目標(番号)	事務事業名	主管課	当初予算事業費	当初予算一般財源
(1)(2)(3)	新産業創出事業	工業課	11,070	6,200
(3)(5)	農畜産物ブランド向上・6次産業化推進事業	農業課	6,932	6,932
(4)	林業振興事業	林務課	9,008	6,335
(5)	強い園芸産地育成事業	農業課	20,965	13,465
			計	32,932

③ 地域産業の担い手確保

- ◇ リニア時代を見据えて、産学官金の連携により地域産業の理解と地域への愛着を高める取り組みを支援し、各産業分野における将来を支える担い手の確保につなげます。
- ◇ 地域産業と地域の企業への理解を深め、高校卒業後及び進学後の地元への定着・回帰を促進するために、高校生を対象として、長期休暇を活用したインターンシップ制度を構築します。
- ◇ 新規就農相談会、ワーキングホリデーの受入れ等による新規就農への誘導や後継者の育成支援により、農業の担い手確保を進めます。また、機械や施設整備による省力化や効率化等の取組によって意欲ある農業者の経営安定を支援し、魅力ある農業の実現を目指します。
- ◇ 「いいだ森林学校」における森林ボランティアや森林サポーター等の養成など、森林を支える側の主体を増やすとともに、林業現場の技能者に係る技術力アップを図ります。
- ◇ 地域資源を掘り起こし新たな視点での産業を興すことを目指す起業家・創業家の受け入れ、育成を支援するとともに、起業後の安定経営に向けた一貫した支援を行います。
- ◇ 商店街の空き店舗を再活用して起業・創業する若者への支援を強化します。

主管課／主な関係課

産業振興課/工業課、農業課、林務課、金融政策課

当事者目標 番号／ア. 何を／イ. いつまでに／ウ. どのような状態にする	取組のポイント	連携する主な団体 及び期待する役割
(1) ア 高校生に対する長期休暇を活用したインターンシップ制度 イ 年度中に ウ 高校、事業所や関係団体等と連携して構築する	・学校、事業所、行政等の関係者で構成する検討組織を立ち上げ、それぞれの関わりを明確にしながらか地域産業を支える担い手の育成につながる制度を構築する。	飯田職業安定協会、飯田公共職業安定所、各種産業団体、長野県、飯田下伊那の高校、長野県飯田技術専門学校、飯田高等職業訓練校、飯下建設産業労働組合連合会、飯田勤労者協議会、(公財)南信州・飯田産業センター(構築に向けた検討主体)
(2) ア 意欲ある農業の担い手・新規就農者 イ 年度中 ウ 経営の安定と拡大を支援するとともに、新規就農者と農家の後継者の確保に取り組む	・定期相談窓口、就農相談フェアや情報発信等による新規就農への誘導 ・モデル事例を活用した営農計画作成支援 ・新規就農者の経営安定・栽培技術向上支援 ・機械や設備整備による省力化・効率化の支援	下伊那農業改良普及センター(営農指導等) 飯田市農業振興センター(相談窓口) 各地区農業振興会議(受入環境整備) 農家(里親、営農指導) 農業委員(連携) 農業生産団体・農業法人(連携)
(3) ア いいだ森林学校の受講者と林業現場における技能者 イ 年度中 ウ 技術の習得を図り、森林整備を推進する	・いいだ森林学校の受講者へ森林ボランティアの登録を促し、森林ボランティアを必要とするニーズに対応できる環境を整えていく。 ・林業事業体の架線系技術の習得を支援し、技能者の技術の向上を図る。	飯伊森林組合(事業受託) いいだ森林学校の受講者 林業事業体(研修実施)
(4) ア 若者等で起業・創業を目指す者 イ 年度中 ウ 起業等を目指す者が必要とする経営技術、起業場所、財務知識に関する具体的支援をし、実際に起業させる。	・年度初めに起業セミナーを重点開催 ・起業家ビジネスプランコンペを行い、受賞者を決定後、受賞者を招いた起業体験交流会を開催 ・総合的な起業支援窓口の整備 ・商工会議所と連携した起業後の安定経営のための伴走支援 ・若者等の起業・創業の際に商店街の空き店舗を活用する誘導事業の実施	飯田商工会議所(共催、共同実施) 地域の各起業支援機関(後援、会議参画) (公財)南信州・飯田産業センター(会議参画、共同支援実施)

当事者目標を実現する経費(該当する事務事業の総額) (千円)				
当事者目標(番号)	事務事業名	主管課	当初予算事業費	当初予算一般財源
(1)	雇用対策事業	産業振興課	1,570	0
(1)(2)	担い手確保・育成支援事業	農業課	61,577	4,614
(3)	林業振興事業	林務課	9,008	6,335
(3)	森林づくり推進事業	林務課	37,316	16,534
(4)	にぎわい創出店舗活用事業	商業・市街地活性課	1,200	1,200
(4)	起業家育成支援事業	金融政策課	11,907	11,907
		計	122,578	40,590

④ 産業用地の整備と戦略的な企業誘致の推進	
◇	新たな産業用地の確保に向けて、三遠南信自動車道の開通も見据え、自然と共生する新たな産業団地整備を早急に進める。また、工場適地の有効活用策を推進する。
◇	リニア時代を見据え、地域再生計画に基づく本社機能の移転や研究開発型企業の誘致を図るとともに、その拠点を整備する支援や、高度専門人材の誘導を促進する。
主管課／主な関係課	
工業課／農業課、林務課、地域計画課、土木課	

当事者目標 番号／ア. 何を／イ. いつまでに／ウ. どのような状態にする	取組のポイント	連携する主な団体 及び期待する役割
(1) ア 環境に配慮した新たな産業団地整備 イ 年度中 ウ 自然環境調査に配慮する中で、周辺道路整備、地元との調整及び法的手続きを完了する	・地元への説明会を開催するとともに、各種許認可申請、周辺道路整備、自然環境調査を実施する。	地元関係者(地権者としての協力)、地域づくり委員会(整備推進の協力)
(2) ア 新たな企業の進出や事業拡大による新たな立地 イ 年度中 ウ 事業拡大による立地と雇用者の増	・計画的な企業誘致活動などを実施し、受け皿としての補助制度の活用を図る。	新たに立地をした企業、地域内で拡張をした企業、立地検討をしている企業(事業実施者)
(3) ア 南信州地域産業活性化基本計画 イ 年度中 ウ リニア時代を見据えた、地域産業の持続的な発展につながる内容となるよう見直しを完了する。	・地域産業活性化協議会を活用し、基本計画の見直しを行い、経済産業大臣との協議を行う。	南信州広域連合(計画作成の支援)

当事者目標を実現する経費(該当する事務事業の総額) (千円)				
当事者目標(番号)	事務事業名	主管課	当初予算事業費	当初予算一般財源
(1)	産業用地整備事業	工業課	30,000	30,000
(2)	企業誘致・立地促進事業	工業課	90,332	89,982
(3)	産業振興事業	工業課	60,071	58,068
		計	180,403	178,050

指標補足事項	
●	進捗状況確認指標 ・「学卒者の地域内回帰・定着率」は、年度ごとの高校卒業者に対する新規学卒就職者(大卒等Uターン就職・高卒就職)の割合。基準(H28)に把握可能な指標はH28. 4月新規学卒就職者の数値

<b>基本目標</b>	<b>2 飯田市への人の流れをつくる</b>
<b>戦略 (考え方)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ リニア中央新幹線の開業や三遠南信自動車道の全線開通による新しい交通網時代を見据え、世界に誇れる多様なライフスタイルの提案により、移住者の増加を目指します。</li> <li>◆ この地域を訪れる人を増やすため、国内外から多くの人を惹きつける魅力づくりに取り組みます。</li> <li>◆ 地域の魅力をさらに磨き上げて地域ブランドを構築するとともに、地域の魅力をプロモーションします。</li> <li>◆ リニア中央新幹線長野県駅を見据えたまちづくりにおける、中心拠点としての中心市街地の魅力づくりを推進します。</li> </ul>

**進捗状況確認指標**

指標(単位) 把握方法	基準	進捗			目標
	H28	H29	H30	H31	H32
休日滞在人口率 休日等に2時間以上滞在した人口	1.44	-	-	-	1.50

**29年度戦略(具体的な取組)**

<b>① 飯田だから実現できるライフスタイルの提案</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 移住者の相談から定住を支援するための仕組みや体制を構築し、農ある暮らしなど飯田の魅力を発信しながら、飯田だから実現できるライフスタイルを提案します。</li> <li>◇ 自然豊かな環境や地域住民との交流を通し、テレワーク型の働き方や地域資源を活用した起業など、暮らしや仕事、学びを実践しやすい地域として、世界から関心を集めて交流人口を増やします。</li> <li>◇ 飯田の資源や人材を活用し、地域と連携した自然型保育やグローバルな視点を育む特色ある教育活動の展開により、飯田で子育てしたい移住者を増やします。</li> </ul>
<b>主管課/主な関係課</b>
ふるさと定住支援課/産業振興課、農業課、子育て支援課、学校教育課、生涯学習・スポーツ課、IIDAブランド推進課

当事者目標 番号/ア. 何を/イ. いつまでに/ウ. どのような状態にする	取組のポイント	連携する主な団体 及び期待する役割
ア 移住相談から定住まで一貫して支援する仕組み  イ 年度末に ウ 庁内横断PJ、市民や関係団体との連携により構築し、地域と一体となって移住希望者へ伝わる情報発信を行う (1)	働く場所や住居の提供、お試し暮らしや移住体験者との交流など地域と連携した受け入れ体制を整え、相談から定住まで一貫した支援の実施と効果的な情報発信により移住・定住を促進する。	長野県、南信州広域連合(移住相談会の開催、広域的な情報発信) 市民、まちづくり委員会、移住体験者(移住希望者の受入支援) 飯田職業安定協会、飯田公共職業安定所、各種産業団体(就労場所の提供)



(2)	<p>ア 農ある暮らし等飯田ならではのライフスタイルの実現</p> <p>イ 年度中</p> <p>ウ 「モデル地区」の設定と「お試し住宅」の整備・活用による移住希望者の受入れを進める</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内移住定住PJ・受け入れ態勢の検討</li> <li>・生活環境や支援制度メニューの情報発信</li> <li>・「お試し住宅」の活用(市有施設)</li> <li>・新たな民泊事業の検討</li> <li>・モデル地区の移住者確保の取組支援</li> <li>・ワーキングホリデー参加者受入れ・農家へのマッチング</li> <li>・農業法人への就職を含めた新規就農への誘導</li> <li>・事業開始20周年を迎えるワーキングホリデーの検証と新たなスタート</li> </ul>	<p>下伊那農業改良普及センター(営農指導)</p> <p>各地区まちづくり委員会(受入環境整備)</p> <p>農業生産団体、農業委員会(連携)</p> <p>農家(営農指導)</p> <p>農業法人(受入れ)</p> <p>Iターン就農者、地域おこし協力隊(受入れ協力)</p>
(3)	<p>ア クリエイターや社会起業家等の外部人材</p> <p>イ 年度中</p> <p>ウ 飯田を拠点に、多様で専門的なワークショップを開催する</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部人材が飯田に入るきっかけ(場)を定着させる</li> <li>・外部人材の専門性と地域住民、資源が学び(ワークショップ等)を通じて混じり合い、イノベーションにつなげる</li> </ul>	<p>外部人材(専門性を持ち込む)</p> <p>地域住民(資源提供・共感・協働)</p> <p>地元企業(資源提供・共感・協働)</p> <p>若手企業家(受講者、参加者、移住候補者)</p>
(4)	<p>ア 宇宙留学サマーキャンプの参加対象</p> <p>イ 8月までに</p> <p>ウ 市内小学生に加え、中京圏に拡大する</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域外の専門的な知見と地域内にある教育資源を活用したサマーキャンプの実施</li> <li>・子どもたちの「知的好奇心」や「夢」「創造性」等を育む</li> <li>・市外参加者を募り、その評価検証等を通じて飯田らしい宇宙教育の構築につなげる</li> </ul>	<p>宇宙航空研究開発機構(JAXA)、信州大学、民間企業、南信州飯田おもしろ科学工房、飯田御月見同好会等(運営協力)</p>
(5) 再掲	<p>ア 「信州やまほいく」認定を</p> <p>イ 年度中</p> <p>ウ 公立保育園全園で取得する</p>	<p>・「信州やまほいく」認定を取得し、自然保育の認知度を高めるとともに、実践的研究を通じた、保育の質向上を図る。</p>	<p>地域の個人・団体(保育実践での連携)</p> <p>長野県(情報提供、研修の実施)</p>
(6) 再掲	<p>ア 飯田コミュニティスクールを推進するため</p> <p>イ 年度を通して</p> <p>ウ 多くの地域住民が参加できる学校支援活動を活性化させる</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飯田コミュニティスクールの設立</li> <li>・学校支援ボランティア構築</li> <li>・公民館によるコーディネートで学校支援ボランティア募集、実践</li> <li>・コミュニティスクールに関する学習会開催</li> </ul>	<p>各コミュニティスクール(始動)</p> <p>まちづくり委員会(参画・応援)</p> <p>PTA等の団体(参画・応援)</p> <p>外部有識者(アドバイザー)</p>

当事者目標を実現する経費(該当する事務事業の総額)				(千円)	
当事者目標(番号)	事務事業名	主管課	当初予算事業費	当初予算一般財源	
(1)(2)	人材誘導事業	産業振興課	4,360	0	
(1)(2)	担い手確保・育成支援事業	農業課	61,577	4,614	
(1)(2)	農業振興センター事業	農業課	6,200	6,200	
(3)	リニア地域づくり推進事業	IIDAブランド推進課	9,646	9,646	
(4)	宇宙教育推進事業	生涯学習・スポーツ課	900	139	
(5)	公立保育所施設整備事業	子育て支援課	27,200	27,200	
(6)	飯田コミュニティスクール推進事業	学校教育課	252	252	
		計	110,135	48,051	

<b>② 【再掲】ふるさとパワーアップ！20地区の個性を輝かせる(20地区「田舎へ還ろう戦略」支援事業)</b>	
◇ 20地区の個性を輝かせる各地区の重点事業＝「田舎へ還ろう戦略事業」を実行するため、ふるさと納税を原資とした交付金を交付し支援します。	
◇ 地域の課題を抽出し解決方法を検討する中で、地域おこし協力隊、集落支援員、生活支援コーディネーター等の制度を活用した有効な支援策の研究を進めます。	
主管課／主な関係課	
ふるさと定住支援課／ムスまちづくり推進課、企画課	

当事者目標 番号／ア.何を／イ.いつまでに／ウ.どのような状態にする	取組のポイント	連携する団体 及び期待する役割
(1) ア 地区指定のふるさと納税制度 イ 5月までに ウ 制度構築し、まちづくり委員会と連携して周知を図り寄附を募る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区指定のふるさと納税の仕組みを構築</li> <li>・クレジット決済システムの導入</li> <li>・各地区への説明、協力依頼</li> <li>・各地区でもPRしてもらう。</li> <li>・各地区は、寄附者への御礼について、ファンづくりや交流に繋がるような内容を検討する。</li> </ul>	各地区まちづくり委員会
(2) ア 田舎へ還ろう戦略 イ 年度中 ウ 各地区で実施しながら、地域経営アドバイザー等の知見を活用し、各地区人口ビジョン達成に向けた課題を整理、次年度実行に向けた各地区重点戦略を構築する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各地区との協議、連携、支援</li> <li>・田舎へ還ろう戦略の実施</li> <li>・寄附の情報は随時地区へ提供</li> <li>・交付金の交付</li> <li>・各地区は、ファンづくりや交流に繋がる御礼を実施する。</li> <li>・各地区は、継続的に情報提供するなどファンづくりに努める。</li> <li>・人口ビジョン達成に向けた地区課題等協議</li> <li>・モデル地区を設定</li> <li>・地域経営アドバイザーとの研究</li> <li>・必要な支援策の検討</li> </ul>	各地区まちづくり委員会
(3) ア 空き家の活用事例 イ 年度中 ウ 10件を目指す	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家の抽出、調査、空き家バンクへの登録</li> <li>・購入、賃貸希望募集</li> <li>・調整、宅建協会依頼、相談</li> <li>・契約支援</li> </ul>	各地区まちづくり委員会 建築士会飯伊支部 宅建協会南信支部飯伊不動産組合 飯田市空き家情報バンク委員会

当事者目標を実現する経費(該当する事務事業の総額)				(千円)
当事者目標(番号)	事務事業名	主管課	当初予算事業費	当初予算一般財源
(1)(2)	20地区田舎へ還ろう戦略支援事業	ふるさと定住支援課	8,530	0
(3)	総合的な空き家対策事業	ふるさと定住支援課	10,912	10,912
		計	19,442	10,912

③ 「結いのまち」飯田においてなんしょ

- ◇ まちなか、天龍峡、遠山郷エリアを中心とした飯田の観光資源の掘り起こしと磨き上げ、それに伴う地域の担い手の強化により、観光産業・観光地の競争力の向上を図るとともに、南信州圏域の広域連携によりこの地域固有の魅力ある観光プログラム(ツアー、お勧めコース等)を、官民連携して創造します。また、県・JRグループ・市町村等が連携して実施する「信州DC(デスクティネーションキャンペーン)」を観光振興のチャンスと捉え、積極的なPR活動により全国からの誘客を図ります。
- ◇ 地域の暮らしや文化に関心を持つ外国人旅行者に、地域の誇りと生きざまに接する「ほんもの体験」を提供し、体験型観光によるインバウンドを推進します。ターゲット国の研究を行いながら、民泊の受入れ農家、体験プログラムのインストラクター、関係団体等との連携を図り、外国人旅行者のニーズにあった観光プログラムを造成します。併せて、農家民泊の普及を図ります。
- ◇ ICT(情報通信技術)等を活用した旅行者動向や口コミ情報のデータ収集と調査分析を進め、効果的なプロモーション展開を図ります。  
首都圏における飯田の情報発信拠点の活用等により、飯田の知名度の更なる向上に努めます。  
観光ホームページやパンフレット等のご当地情報の充実、市民や旅行者によるSNS等を使った多面的でタイムリーな情報拡散を図り、飯田に訪れたい人々を増やします。
- ◇ 観光地域づくりの舵取り役でありプラットフォームとして、この地域の広域観光に関する戦略策定と、その戦略を実行する組織体制(南信州版DMO)の実現化に向けた(株)南信州観光公社の機能強化等の検討をします。

主管課/主な関係課

観光課/農業課、IIDAブランド推進課

当事者目標 番号/ア. 何を/イ. いつまでに/ウ. どのような状態にする	取組のポイント	連携する主な団体 及び期待する役割
<p>飯田に興味を持って訪れる旅行者</p> <p>ア</p> <p>イ 年度中</p> <p>ウ 「信州DC」や首都圏の情報発信拠点を誘客のために積極的に活用して増加させる</p> <p>(1)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市部住民と地域住民との交流ツアー等の拡充</li> <li>・大河ドラマを素材としたまちなか散策ツアーの造成</li> <li>・「信州DC」での情報発信・誘客活動</li> <li>・首都圏における飯田の情報発信拠点の活用や大手観光情報誌へのPR掲載活動</li> </ul>	<p>飯田観光協会(情報発信、誘客活動等)</p> <p>(株)南信州観光公社(ツアー主催)</p> <p>観光関連事業者(情報発信、誘客活動等)</p> <p>信州キャンペーン実行委員会(情報発信、誘客活動等)</p> <p>渋谷区(交流の場の提供)</p> <p>品川区(交流の場の提供)</p> <p>(一社)しながわ観光協会(情報発信への支援)</p> <p>品川区商店街連合会(交流への支援)</p> <p>品川ブックカフェKAIDO(情報発信・交流)</p> <p>銀座NAGANO(情報発信・交流)</p>
<p>ア 改築後の天龍峡温泉交流館の多様な機能と中心拠点としての役割</p> <p>イ 年度中</p> <p>ウ 効果的に活用して、天龍峡及び周辺エリアの周遊観光に結びつけて賑わいを創出する</p> <p>(2)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山本地区(杵原学校)他、三遠南信沿線地区や観光施設との連携体制の構築</li> <li>・温泉交流館を中心拠点にして、エコバレー・今田平エリア他の立ち寄り処(食事、川下り舟、ラフティング、果物狩り等)の利用促進</li> </ul>	<p>天龍峡観光案内所(情報発信、案内)</p> <p>天龍峡ご案内人の会(ガイド)</p> <p>飯田観光協会(情報発信、誘客活動)</p> <p>観光関連事業者(誘客活動)</p> <p>(株)農耕百花(交流館運営)</p> <p>天龍峡温泉観光協会(誘客活動)</p> <p>天龍峡300万人会議(誘客活動)</p>
<p>ア 遠山郷の観光を切り口にした地域振興策</p> <p>イ 年度中</p> <p>ウ 道の駅遠山郷を核にした地域活性化に向けた計画策定を進め、地域の合意形成を図る また、移住定住促進に向けた遠山郷の若者の思いを実現するプロジェクト事業の支援策を推進する</p> <p>(3)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道の駅遠山郷を核にした地域活性化に向けた計画策定及び地域の合意形成</li> <li>・地域の若者発想による外から人を呼び込むための支援と、地域の観光地づくりに向けた機運の醸成</li> </ul>	<p>遠山郷8団体連絡会(連絡調整)</p> <p>遠山郷の若者グループ(プロジェクトの推進)</p> <p>遠山郷観光協会(プロジェクトの支援)</p> <p>和歌山大学(調査・分析・提案)</p> <p>地域おこし協力隊(プロジェクトの推進)</p>

(4)	ア	インバウンド観光への適切な対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国人旅行者のニーズを的確に捉えた観光プログラムの提供</li> <li>受入れ農家を対象とした外国人旅行者対応研修の実施</li> <li>ロンドンビジネススクール(LBS) Japan Trekにおける体験型観光の評価調査を参考にしたインバウンド戦略の検討</li> </ul>	飯田観光協会(情報発信、誘客活動) ㈱南信州観光公社(農家民泊の運営) 農家民泊受入れ農家(農家民泊経営)
	イ	年度中		
	ウ	外国人向けの観光プログラムの開発を行い、農家民泊を普及する		
(5)	ア	観光に利用しやすいWi-Fi環境整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>飯田駅観光案内所、まちなかインフォメーションセンター、天龍峡観光案内所の3施設に設置</li> </ul>	飯田観光協会(案内所の運営) 天龍峡温泉観光協会(案内所の運営)
	イ	年度中		
	ウ	外国人旅行者や若者世代の旅の利便性を高めるインフラ環境の検討		
(6)	ア	㈱南信州観光公社の機能強化策について	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域連携DMOによる観光地域づくりに向けた備えるべき機能と組織形態、運営方法等を関係機関・団体等と協議</li> </ul>	㈱南信州観光公社(DMO運営主体) 飯田観光協会(DMO運営支援) 南信州広域連合(DMO運営支援) 南信州観光連携プロジェクト(研究・提言) 観光関連団体(連携・協働)
	イ	年度中		
	ウ	素案を作成する		

当事者目標を実現する経費(該当する事務事業の総額)				(千円)	
当事者目標(番号)	事務事業名	主管課	当初予算事業費	当初予算一般財源	
(1)(4)(5)(6)	観光誘客推進事業	観光課	20,848	20,848	
(1)	エコツーリズム推進事業	観光課	1,045	1,045	
(2)	天龍峡まちづくり支援事業	観光課	246,968	26,380	
(3)	遠山郷観光戦略プロジェクト事業	観光課	19,195	0	
		計	288,056	48,273	

④ 地域ブランドの構築と飯田の魅力が伝わるプロモーション	
<p>◇ シティプロモーション活動を推進するための庁内体制づくりや市民協働による体制づくりを進め、シビックプライドを醸成しながら市民や市外の発信力のある人材との関係を強化します。</p> <p>◇ 2027年のリニア開業を見据え、ブランディング事業とシティプロモーション事業とが連携し、飯田の知名度と認知度を向上させます。</p> <p>◇ 飯田の暮らしや自然・歴史・文化を背景とした既存の資源を磨き、地域の魅力を広く発信します。</p> <p>◇ 南信州・飯田フィールドスタディ等を通じて「学びの場 飯田」の価値を高めるとともに、学輪IIDAの人的ネットワークを活かした様々な教育・研究活動等の展開を通じて、当地域の学術研究機能を発信します。</p>	
<p>主管課／主な関係課</p> <p>IIDAブランド推進課／産業振興課、観光課、農業課、企画課、文化会館、生涯学習・スポーツ課</p>	

当事者目標 番号／ア.何を／イ.いつまでに／ウ.どのような状態にする	取組のポイント	連携する主な団体 及び期待する役割
(1) ア 飯田ランキングを多くの投票参加者を得て実施し イ 年度末まで ウ 結果の発信を通じて地域におけるシビックプライドを醸成する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シティプロモーションの市民サポーター、投票項目関係団体と連携しランキングのPRを行い投票参加を促進するとともに、結果の効果的な活用と発信を行う</li> </ul>	IIDAブランディングPJ(企画・結果の活用と発信) 市民サポーター(PR、発信) 投票項目関係団体(連携)
(2) ア シティプロモーションの市民サポーター(応援団) イ 年度末までに ウ 魅力発信の講座に参加してもらい、協働で情報発信を行う	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シビックプライドの醸成</li> <li>・魅力発信の講座の実施</li> <li>・市民協働による運営体制づくりとプロモーション活動の展開</li> </ul>	飯田観光協会(連携) IIDAブランディングPJ(情報発信) プロモーション活動に協力してくれる関係者(情報発信)
(3) ア 首都圏等のメディア関係者 イ 年度末までに ウ 飯田市の魅力をテレビや新聞、雑誌などのメディアで扱ってもらえるように営業活動を行う	<ul style="list-style-type: none"> <li>・首都圏を中心としたメディアへの営業活動を実施する</li> <li>・飯田観光協会等と連携してメディア関係者の招致や取材対応を行う</li> </ul>	飯田観光協会(連携) IIDAブランディングPJ(情報発信) プロモーション活動に協力してくれる関係者(営業活動)
(4) ア 飯田市の知名度・認知度を向上させるためのツール イ 年度末までに ウ 制作、更新、活用する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プロモーションツールの開発</li> <li>・ソーシャルメディアの活用</li> <li>・飯田市徹底ガイド(別冊KURA)の発行</li> <li>・首都圏や中京圏を中心としたメディアへのプロモーション活動とツールの活用</li> </ul>	飯田観光協会(連携) IIDAブランディングPJ(アドバイス、活用) プロモーション活動に協力してくれる関係者(活用)
(5) ア IIDAブランドの核となる人形劇など20のコンテンツ イ 年間を通じて ウ 海外視点を取り込みながら、海外に向けて発信する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・IIDAブランディングPJと連携し、多言語に対応し、クオリティの高いWebサイトを構築し運用する</li> <li>・大学生と連携し、ソーシャルメディア活用した効果的な発信を行う</li> <li>・発信コンテンツ関係団体等との調整を密にする。</li> </ul>	IIDAブランディングPJ(全体企画) 大学生(SNS発信) 発信コンテンツ関係団体(素材・情報提供)
(6) ア 新たな学習手法を導入した南信州・飯田フィールドスタディの学習プログラムを イ 年度中に ウ 関係者とともに構築し、実践する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・魅力ある学習に向けたアクティブラーニング(能動的な学習)手法の積極的な導入</li> <li>・大学研究者や地域との連携による学習プログラムの策定と実践</li> </ul>	大学、大学研究者、学生(専門的な知見) 地域(経験、課題)

当事者目標を実現する経費(該当する事務事業の総額) (千円)				
当事者目標(番号)	事務事業名	主管課	当初予算事業費	当初予算一般財源
(1)(5)	リニア地域づくり推進事業	IIDAブランド推進課	9,646	9,646
(2)(3)(4)	シティプロモーション推進事業	IIDAブランド推進課	7,838	7,838
(6)	大学とのネットワーク構築事業	企画課	3,361	3,361
計			20,845	20,845

<b>⑤ 魅力的な中心拠点の形成</b>
<p>◇ リニア中央新幹線長野県駅を見据えた中心市街地の中心拠点としての魅力づくりを進めます。</p> <p>◇ まちの賑わいづくりやまち歩きを楽しんでもらうため、若者や市民参画の関係団体と連携して、各種イベント等を開催します。</p> <p>◇ 中心市街地の玄関口である飯田駅周辺のあり方を検討するため、飯田駅周辺プロジェクトを推進します。</p>
<b>主管課／主な関係課</b>
商業・市街地活性化課／観光課、ムトスマちづくり推進課、土木課、地域計画課、リニア推進課

当事者目標 番号／ア. 何を／イ. いつまでに／ウ. どのような状態にする	取組のポイント	連携する主な団体 及び期待する役割
<p>(1)</p> <p>ア 中心市街地の来訪者 イ 年度中 ウ まちなか誘導の様々な事業を効果的に実施することにより、日常・イベント時を問わず増加し、賑わいが形成される</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飲食系イベント丘のまちバルや親子連れのみちなか回遊促進事業丘の上さんぽ等を実施し、日常のリピーター増加を図る</li> <li>・りんご並木歩行者天国、丘のまちフェスティバル等休日イベントを開催し、みちなかへの誘客を図る</li> <li>・空き店舗の実態を把握し、起業・創業支援による空き店舗解消に取り組む</li> </ul>	<p>中心市街地活性化協会(事業支援)</p> <p>飯田丘のまちバル実行委員会(事業主体)</p> <p>丘フェス実行委員会(事業主体)</p> <p>りんご並木まちづくりネットワーク(事業主体)</p> <p>飯田中心商店街連合会(事業支援)</p>
<p>(2)</p> <p>ア JR飯田駅周辺 イ 年度中 ウ 課題の整理・将来像の検討を行い、リニア時代に向けた中心市街地の玄関口としての機能・役割分担を明らかにする</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第3期中心市街地活性化基本計画策定検討に合わせて、講演会、勉強会を開催するなどして、多様な主体の参画により検討する</li> <li>・飯田駅前商業施設の存続に向けた検討を行う</li> </ul>	<p>まちづくり委員会(検討)</p> <p>中心市街地活性化協会(検討)</p> <p>飯田中心商店街連合会(検討)</p> <p>NPOいいた応援ネットイデア・南信州アルプスフォーラム(検討)</p> <p>飯田商工会議所(検討)</p> <p>飯田観光協会(検討)</p>

当事者目標を実現する経費(該当する事務事業の総額)				(千円)
当事者目標(番号)	事務事業名	主管課	当初予算事業費	当初予算一般財源
(1)(2)	中心市街地活性化事業推進事務	商業・市街地活性化課	8,463	8,463
(1)	りんご並木活性化事業	商業・市街地活性化課	2,495	1,595
<b>計</b>			<b>10,958</b>	<b>10,058</b>

<b>指標補足事項</b>
<p>●進捗状況確認指標</p> <p>・「休日滞在人口率」は、年度ごとの国勢調査人口に対する休日等に2時間以上、市内に滞在した人口の割合。基準(H28)の指標は、H26年度に把握した数値とし、「まち・ひと・しごと創生本部 地域経済分析システム『リサーチ』」による休日等に2時間以上、市内に滞在した人口の数値</p>

<b>基本目標</b>	<b>3 地育力が支える学び合いで、生きる力をもち、心豊かな人材を育む</b>
<b>戦略 (考え方)</b>	<p>◆ 地育力(地域の資源と人材)を活用した飯田らしい小中連携・一貫教育と多様な学習交流を推進し、リニア時代を生き抜く力(主体性・柔軟性・協調性・コミュニケーション力・グローバルな発想力とローカルな視点での行動力・倫理観)を培う人材を育みます。</p>

**進捗状況確認指標**

指標(単位) 把握方法	基準	進捗			目標
	H28	H29	H30	H31	H32
保護者・地域の人々の教育活動への参加率(小) 全国学力・学習状況調査	94.30	-	-	-	100.00
保護者・地域の人々の教育活動への参加率(中) 全国学力・学習状況調査	77.80	-	-	-	100.00
ICT活用のための校内研修の実施率(小) 全国学力・学習状況調査	31.60	-	-	-	70.00
ICT活用のための校内研修の実施率(中) 全国学力・学習状況調査	33.30	-	-	-	70.00

**29年度戦略(具体的な取組)**

<b>① 飯田らしい小中連携・一貫教育の推進</b>
<p>◇ 飯田市は、学力・体力の向上と生徒指導の充実および不登校問題などの教育的課題を解決するために小中連携・一貫教育を進めています。各中学校区ごとの主体的で特徴ある事業の実施、地育力(地域の資源と人材)の活用により感動・発見を伴う体験的な学びを通して、主体性と意欲を引き出すことを重視する飯田らしい学習を推進します。</p>
<b>主管課/主な関係課</b>
<p>学校教育課/生涯学習・スポーツ課、公民館、文化会館、美術博物館、中央図書館、歴史研究所、ムトスまちづくり推進課</p>

当事者目標 番号/A.何を/I.いつまでに/U.どのような状態にする	取組のポイント	連携する団体 及び期待する役割
<p>(1) A 中1ギャップによる不登校生徒数を I 年度を通して U 減少させる</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飯田長期欠席児童生徒支援ネットワーク組織団体との情報共有、連携</li> <li>・民間支援団体事業の後援、連携</li> <li>・家庭との連携、学習会や相談事業への呼びかけ</li> <li>・こどもサポート会議の充実</li> </ul>	<p>長野県教育委員会(指導) 長野県関連機関・児童相談所等(連携) 民間不登校支援団体・個人(支援) 保護者・家庭(連携・指導・学習)</p>
<p>(2) A 義務教育9年間の系統的な中学校区ごとの指導計画・学習プログラムを I 年度末までに U 作成する</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域、保護者及び社会教育関連団体が、各中学校区毎の義務教育9年間の学習プログラムの作成に積極的に参画するように働きかける。</li> <li>・学習プログラムの作成にあたっては、学校運営協議会などの組織において意見を聴取する。</li> </ul>	<p>各中学校区(企画・実践) 地域住民(参画・応援・実践) 社会教育関連団体(参画・応援・実践)</p>

当事者目標を実現する経費(該当する事務事業の総額)				(千円)
当事者目標(番号)	事務事業名	主管課	当初予算事業費	当初予算一般財源
(1)	教育相談事業	学校教育課	7,334	7,334
(2)	小中連携・一貫教育推進事業	学校教育課	30,140	30,140
<b>計</b>			<b>37,474</b>	<b>37,474</b>

<b>② 地域と学校がつながる飯田コミュニティスクールの立ち上げと推進</b>	
◇ 学校と地域が連携して子どもたちを育てるために、学校と地域が協働する仕組みである「飯田コミュニティスクール」の立ち上げとスムーズな運営を目指します。地域住民が学校運営への参画や学校支援を一体的、継続的に実施し、特徴ある学校づくりを検討します。将来的には高校へのコミュニティスクールの設置を目指します。	
主管課／主な関係課	
学校教育課／生涯学習・スポーツ課、公民館、文化会館、美術博物館、中央図書館、歴史研究所、ムトスまちづくり推進課、ふるさと定住支援課	

当事者目標 番号／ア.何を／イ.いつまでに／ウ.どのような状態にする	取組のポイント	連携する団体 及び期待する役割
(1) ア 飯田コミュニティスクールを推進するため イ 年度を通して ウ 多くの地域住民が参加できる学校支援活動を活発化させる	・飯田コミュニティスクールの設立 ・学校支援ボランティア構築 ・公民館によるコーディネートで学校支援ボランティア募集、実践 ・コミュニティスクールに関する学習会開催	各コミュニティスクール(始動) まちづくり委員会(参画・応援) PTA等の団体(参画・応援) 外部有識者(アドバイザー)
(2) ア 各校の具体的な取組について イ 年度末までに ウ 関係者で情報を共有する機会を創造する	・各小中学校のコミュニティスクールの具体的な事例を学び合う ・学校運営協議会委員を対象とした研修会の開催	各コミュニティスクール(設立・スタート) まちづくり委員会(参画・支援) PTA等の団体(参画・支援) 社会教育団体(参画・支援) 外部有識者(アドバイザー)
(3) ア 高校におけるコミュニティスクールの立ち上げに向けて イ 年度末までに ウ 高校と地域と連携した事業を展開する	・高校の学校評議員制度についての情報収集 ・長野県教育委員会の協力により高校との懇談会開催	長野県教育委員会(支援) 飯伊の高等学校(理解・検討) まちづくり委員会(応援)

当事者目標を実現する経費(該当する事務事業の総額)				(千円)
当事者目標(番号)	事務事業名	主管課	当初予算事業費	当初予算一般財源
(1)(2)(3)	飯田コミュニティスクール推進事業	学校教育課	252	252
		計	252	252

<b>③ LG(地域・地球)飯田教育の充実</b>	
◇ 「LG(地域・地球)飯田教育」は、身近な地域から考え地球的規模で行動できる人材を育むことを目的とします。LG(地域・地球)飯田教育の実践から、これまで全小中学校で実施されているふるさと学習を基に世界につながる教育を展開し、飯田出身者であることに誇りと愛着を持てる子供たちを育みます。	
◇ ふるさと飯田とのつながりを知り、誇りや愛着を持つとともに、ふるさと飯田に軸足を置きつつ、地球規模の視点・素養を持つ人材を育成します。	
◇ ものづくり産業など特徴的な地域産業を学習教材として活用します。	
主管課／主な関係課	
学校教育課／生涯学習・スポーツ課、公民館、文化会館、美術博物館、中央図書館、歴史研究所、企画課、環境モデル都市推進課、環境課、男女共同参画課、工業課	

当事者目標 番号／ア.何を／イ.いつまでに／ウ.どのような状態にする	取組のポイント	連携する団体 及び期待する役割
(1) ア 学校の教科教育の中で「LG(地域・地球)飯田教育」を イ 年度を通して ウ 関連づける研究を学校現場で行う	教師によるプロジェクト立ち上げ、研究 リーディング事業の実施、関係者の出席要請	各学校(理解・企画・実施) 社会教育団体(協力)



当事者目標を実現する経費(該当する事務事業の総額) (千円)				
当事者目標(番号)	事務事業名	主管課	当初予算事業費	当初予算一般財源
(1)	地育力向上推進事業	生涯学習・スポーツ課	6,565	6,503
(1)	社会教育推進事業	生涯学習・スポーツ課	2,231	2,178
(1)	科学実験教室推進事業	生涯学習・スポーツ課	1,050	1,050
(1)	宇宙教育推進事業	生涯学習・スポーツ課	900	139
(1)	美術博物館教育普及・活動支援事業	美術博物館	7,511	5,047
		計	18,257	14,917

④ ICTを活用した教育課題への対応	
<p>◇ ICTを活用し飯田市の教育課題へ対応するとともに、21世紀型スキル(問題解決型スキル)を習得します。少人数学級での多様性の育成、支援学級に応じたICT機器の活用及び問題解決型学習の実践を踏まえ、ICTを活用した学習の検証と評価を行います。</p> <p>◇ 小中学校へのICTを活用した教育の取組は、モデル中学校区の実証検証をスタートとに、H32までに全校への展開を目指します。</p>	
<p>主管課/主な関係課</p> <p>学校教育課/総務文書課、企画課、男女共同参画課、IIDAブランド推進課</p>	

当事者目標 番号/ア. 何を/イ. いつまでに/ウ. どのような状態にする	取組のポイント	連携する団体 及び期待する役割
(1) ア 遠山中学校区3校でICTを活用した実証検証を イ 年度を通して ウ 小規模校の子供たちの自主性、コミュニケーション能力を高めるために実施する	モデル中学校区1校で実施 第1次実証検証(～10月) 教員の指導力向上研修(年間) 第2次実証の研究(11月～)	モデル小中学校(企画・実践・実証評価) 校長会主導委員会プロジェクト(実証評価方法及び研修会内容の検討) ICTコーディネーター(支援) 外部有識者(アドバイザー)
(2) ア 旭ヶ丘中学校区3校でICTを活用した実証検証を イ 年度を通して ウ 特別支援学級、不登校児童・生徒に対する子供たちの学習機会を確保し、学習意欲を高めるために実施する	モデル中学校区1校で実施 第1次実証検証(～10月) 教員の指導力向上研修(年間) 第2次実証の研究(11月～)	モデル小中学校(企画・実践・実証評価) 校長会主導委員会プロジェクト(実証評価方法及び研修会内容の検討) ICTコーディネーター(支援) 外部有識者(アドバイザー)
(3) ア 竜東中学校区4校でICTを活用した実証検証を イ 年度を通して ウ 問題解決型学習の実践による子供たちの思考力・判断力・表現力を育むために実施する	モデル中学校区1校で実施 第1次実証検証(～10月) 教員の指導力向上研修(年間) 第2次実証の研究(11月～)	モデル小中学校(企画・実践・実証評価) 校長会主導委員会プロジェクト(実証評価方法及び研修会内容の検討) ICTコーディネーター(支援) 外部有識者(アドバイザー)

当事者目標を実現する経費(該当する事務事業の総額) (千円)				
当事者目標(番号)	事務事業名	主管課	当初予算事業費	当初予算一般財源
(1)(2)(3)	小学校ICT教育推進事業	学校教育課	90,573	61,729
(1)(2)(3)	中学校ICT教育推進事業	学校教育課	52,555	39,321
		計	143,128	101,050

<b>⑤ 高校生を対象とした地域人教育の推進</b>
◇ 地域を愛し、理解し、地域で活躍する人材を育てるために、地元高校生を対象として地域人教育を推進します。飯田OIDE長姫高校の実践を他の学校へ展開し、高校生のまちづくりや地域への関わりを増やします。
<b>主管課／主な関係課</b>
公民館／生涯学習・スポーツ課、ムトスマちづくり推進課

当事者目標 番号／ア. 何を／イ. いつまでに／ウ. どのような状態にする	取組のポイント	連携する団体 及び期待する役割
(1) ア 地域資源と教育資源を イ 年度を通して ウ 「地域人教育」によりつなげる	・長野県教育委員会や当地域の高等学校長との懇談により飯田市の当事業の内容をPRする。 ・飯田OIDE長姫高校の商業科以外への水平展開を試みる。	長野県教育委員会(支援) 飯伊高等学校校長会(支援) 飯田OIDE長姫高校(連携・実践) 松本大学(協力) まちづくり団体等(協力) NPO法人ふるさと南信州緑の基金(協力) 国際交流推進協会(協力)
(2) ア 高校生講座による「LG(地域・地球)飯田教育」を イ 年度を通して ウ 小中学校などの学習素材とする	・高校生等次世代育成事業の報告会のひとつに中学校での発表を選択肢とする。 ・中学校は、LG(地域・地球)飯田教育のモデル事業のひとつとして実施することで中高連携を進める。	NPO法人ふるさと南信州緑の基金(協力) 各中学校(協力)
(3) ア 当地域の高校生の意欲的なまちづくり活動などを イ 年間を通して ウ コーディネート及び支援する	・高校生の地域活動の参画を関連団体へ働きかける。	高等学校(理解・連携) 各地区公民館(連携) 各地区まちづくり委員会等(連携)

当事者目標を実現する経費(該当する事務事業の総額) (千円)				
当事者目標(番号)	事務事業名	主管課	当初予算事業費	当初予算一般財源
(1)(2)(3)	高校生等次世代育成事業	公民館	1,915	1,915
		計	1,915	1,915

指標補足事項
<p>●進捗状況確認指標の設定について</p> <p>・基本目標3「地育力が支える学び合いで、生きる力をもち、心豊かな人材を育む」に掲げた5つの小戦略を実現するためには、学校と地域が連携・協働することで、地域に開かれた学校、地域とともにある学校づくりが重要であり、そのためには、学校を核とした地域づくりを推進する中で、子供も大人も学び合い育ち合う教育のしくみが必要である。</p> <p>・そこで、保護者や地域住民の教育活動への参加率を指標に設定することとし、現在の参加率(小学校94.3%、中学校77.8%)も踏まえ、さらに、今後のコミュニティスクールの定着及び充実により4年後の目標値を小中学校とも100%の目標値とした。</p> <p>・飯田市の教育課題をICTを活用することにより少しでも解決するためにICT教育を推進することとしているが、このICT教育を定着させ教育効果を生ずるためには、学校現場での教師の指導力が重要である。教師の指導力は全国的にも指摘や課題として挙げられている。このことから、今回は校内研修の実施率を指標に設定した。目標値は、現在の数値がおおむね小中学校とも3分の1という状況であることから、4年後の目標値をおおむね3分の2に相当する70%の数値に設定した。</p>

<b>基本目標</b>	<b>4 自然と歴史を守りいかし伝え、新たな文化をつくりだす</b>
<b>戦略 (考え方)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 「伊那谷の自然と文化」をテーマとした学術研究、教育普及、保存継承、活用創造の取組を、行政・教育機関の連携と、市民研究団体及び地域組織等との協働により、総合力を発揮して推進します。</li> <li>◆ 「地域振興の知の拠点」の形成を目指します。</li> </ul>

**進捗状況確認指標**

指標(単位) 把握方法	基準	進捗			目標
	H28	H29	H30	H31	H32
調査研究報告書等の発刊件数(件) 関係課における実績を集計	16	-	-	-	18
教育普及事業延参加者数(人) 美博・歴研・市公民館・図書館等の実績を集計	46,277	-	-	-	48,100
指定等文化財の累計(件) 生涯学習・スポーツ課で把握	174	-	-	-	184
美術博物館来館者数(人) 美術博物館で把握	50,910	-	-	-	53,500

**29年度戦略(具体的な取組)**

<b>① 「伊那谷の自然と文化」への玄関口 飯田市美術博物館の魅力アップ</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ リニア時代に向け、独自で多様で奥深い「伊那谷の自然と文化」の玄関口としての導入案内機能を担う飯田市美術博物館の魅力度をさらに高めます。</li> <li>◇ 市制施行80周年記念事業として菱田春草の作品及び関連資料の常設展示化を実現します。</li> <li>◇ H30年度に人文分野の常設展示の更新を行うべく展示計画を策定します。 (H31年度に自然分野の常設展示の更新を行い、一連の更新を美博開館30周年記念事業に位置づける)</li> <li>◇ 映像による案内機能を高めるため、プラネタリウムを活用したドームシアター新番組(「風越山」を検討中)の制作を行います。</li> </ul>
<b>主管課/主な関係課</b>
美術博物館/生涯学習スポーツ課、歴史研究所、中央図書館、文化会館、公民館

当事者目標 番号/A. 何を/I. いつまでに/U. どのような状態にする	取組のポイント	連携する団体 及び期待する役割
(1) <ul style="list-style-type: none"> <li>A 菱田春草の作品・資料について</li> <li>I 29年度中に</li> <li>U 所蔵・寄託物を増やすとともに常設展示化する</li> </ul>	菱田春草の生誕地にある春草研究の中核機関としての機能を高めるため、「美術品等取得基金」を活用した収蔵作品の充実と、春草の画業と生き方を広く伝える作品・資料を常時観られる展示環境の整備(春草記念室の常設化)を行う	飯田春草会(企画協議) 下伊那教育会(春草研究委員会)(企画協議) 春草遺族関係者(協力)
(2) <ul style="list-style-type: none"> <li>A 博物(自然・人文)部門の常設展示について</li> <li>I 29年度中に</li> <li>U 更新計画を策定する</li> </ul>	31年度の開館30周年に向け、博物(自然・人文)の常設展示をリニューアルするための更新計画を関係組織等と協議しながら策定する	伊那谷研究団体協議会(企画協議) 伊那民俗学研究所(企画協議)
(3) <ul style="list-style-type: none"> <li>A ドームシアターの新番組を</li> <li>I 29年度中に</li> <li>U 制作・公開する</li> </ul>	プラネタリウムを活用したドームシアターで飯田の自然と文化の魅力映像で紹介する新番組(「風越山(仮称)」)を制作する	和歌山大学観光学部(技術協力) 風越山を愛する会等地域団体(企画協議・制作協力) 白山社(制作協力)

当事者目標を実現する経費(該当する事務事業の総額) (千円)				
当事者目標(番号)	事務事業名	主管課	当初予算事業費	当初予算一般財源
(1)	美術博物館資料調査研究・収集保管事業	美術博物館	14,190	12,194
(1)(2)	美術博物館展示公開事業	美術博物館	20,897	14,891
(3)	プラネタリウム運営事業	美術博物館	13,563	12,122
		計	48,650	39,207

② 国指定の史跡名勝の保存・整備・活用	
◇ 「伊那谷の自然と文化」の持つ価値を象徴する国指定の史跡名勝の保存・整備・活用を確実に進めます。	
◇ 史跡 恒川官衙遺跡の史跡公園整備に向けた取組、史跡 飯田古墳群の保存活用、名勝 天龍峡のガイダンス機能の整備など、それぞれ計画的に進めます。	
主管課／主な関係課	
生涯学習・スポーツ課／美術博物館、地域計画課、土木課、国県リニア事業課、リニア推進課、リニア整備課、農業課、農業委員会事務局、観光課、座光寺公民館、座光寺自治振興センター	

当事者目標 番号／ア. 何を／イ. いつまでに／ウ. どのような状態にする	取組のポイント	連携する団体 及び期待する役割
(1) ア 恒川官衙遺跡について イ 29年度を通して ウ 史跡公園の整備に向けた取組を進める	史跡 恒川官衙遺跡の存在と価値を伝え、学びと交流を通じた人づくり、まちづくりの場とする史跡公園の整備に向け、整備基本計画の策定、用地取得、調査業務を行うとともに、座光寺地域と協働して「2000年浪漫の郷」づくりに向けた取組を進める	文化庁(指導・助言) 長野県教育委員会(助言・協力) 飯田市土地開発公社(調整協議) 文化財審議委員会・史跡専門委員会(計画等審議) 2000年浪漫の郷委員会(調整・協議・協働)
(2) ア 飯田古墳群について イ 29年度内に ウ 史跡指定事実と価値を周知する保存活用計画の策定を進める	28年度に国の史跡に指定された「飯田古墳群」の価値と概要を周知するための企画展示を開催するとともに、将来に向けた保存管理と整備活用方針を示す保存活用計画の策定に着手する	文化庁(指導・助言) 長野県教育委員会(助言・協力) 文化財審議委員会・史跡専門委員会(計画等審議) 飯田古墳群を語る会・各地区保存活用団体(調整・協議・協働)
(3) ア 名勝天龍峡について イ 29年度末までに ウ ガイダンス機能の整備計画を策定する	国の名勝に指定されている天龍峡の価値と魅力を広く伝えるためのガイダンス機能のあり方に関する方針と、今後の施設整備に向けた計画を策定する	文化庁(指導・助言) 長野県教育委員会(助言・協力) 文化財審議委員会・名勝天龍峡整備検討委員会(計画等審議) 国土交通省(協議・調整) 名勝天龍峡温泉観光協会等の活性化団体(調整・協議・協働)

当事者目標を実現する経費(該当する事務事業の総額) (千円)				
当事者目標(番号)	事務事業名	主管課	当初予算事業費	当初予算一般財源
(1)	恒川遺跡群保存活用事業	生涯学習・スポーツ課	219,322	51,791
(2)	飯田古墳群保存活用事業	生涯学習・スポーツ課	6,650	3,325
(2)	美術博物館展示公開事業	美術博物館	20,897	14,891
(3)	天龍峡まちづくり支援事業	観光課	246,968	26,380
		計	493,837	96,387

<b>③ 人形劇の世界都市としての推進力・求心力の向上</b>	
◇ カーニバルから通算40周年目を迎える平成30年度を重要な節目として、人形劇の世界都市としての推進力と求心力を高めます。	
◇ 世界人形劇フェスティバル及びAVIAMA(人形劇の友・友好都市国際協会)総会の成功に向けて関係機関との連携・調整を図りながら企画・開催準備、受入体制づくりを進めます。	
◇ AVIAMA加盟都市の拡大に向けた取組や、全国・世界の人形劇文化の振興に役立つ学術研究及び史資料の収集・保管・活用に関する方針を策定します。	
<b>主管課／主な関係課</b>	
文化会館／公民館、商業・市街地活性化課、企画課、秘書広報課、IIDAブランド推進課、男女共同参画課	

当事者目標 番号／ア. 何を／イ. いつまでに／ウ. どのような状態にする	取組のポイント	連携する団体 及び期待する役割
(1) ア 30年度の世界人形劇フェスティバルの開催に向けて イ 29年度を通して ウ 計画準備する	市民、劇人、行政で組織する「いいだ人形劇フェスタ実行委員会」において、海外招聘劇団、主要プログラムを決定するとともに、PR活用を行うための翻訳・映像作成、上演環境整備等を確実に進める	いいだ人形劇フェスタ実行委員会(実行主体) NPO法人 いいだ人形劇センター(協働)
(2) ア 30年度のAVIAMA総会の開催に向けて イ 29年度を通して ウ 計画準備する	9月にフランスのシャルルヴィル・メジエール市で開催される本年度総会において、飯田総会の日程・概要を決定するとともに、飯田総会の開催に向けた準備と、参加促進のためのPR活動を行う	人形劇の友・友好都市国際協会(協働・支援) いいだ人形劇フェスタ実行委員会(調整・協力)
(3) ア AVIAMA加盟都市拡大に向けて イ 29年度を通して ウ 勧誘する	AVIAMA活動のアジア地域の中核都市として活動の輪を広げるため、人形劇フェスタ等を通じて関係を持っている国内及びアジア地域の市町・都市等を中心とした勧誘活動を行う	人形劇の友・友好都市国際協会(協働・支援) いいだ人形劇フェスタ実行委員会(調整・協力)
(4) ア 人形劇文化の振興に役立つ史資料について イ 29年度を通して ウ 収集・保管・活用に関する方針をまとめる	関係団体、資料所有者と協議して、史資料の収集、整理、保管、展示に関する方針を策定するとともに、新たに出される資料の収集、整理を行う	NPOいいだ人形劇センター(方針協議) 資料所有者(方針協議)
(5) ア 人形劇のまち飯田の新モニュメントについて イ 29年度を通して ウ 30年度の世界フェス、AVIAMA総会までに整備できるよう取り組む	多様な主体が参画する市民会議により、企画検討と募金活動を行う	「人形劇のまち飯田」運営協議会等(企画検討・募金活動)

当事者目標を実現する経費(該当する事務事業の総額)				(千円)
当事者目標(番号)	事務事業名	主管課	当初予算事業費	当初予算一般財源
(1)(2)(3)(4)(5)	人形劇のまちづくり事業	文化会館	71,898	48,898
(2)	シティプロモーション推進事業	IIDAブランド推進課	7,838	7,838
(5)	人形とけい塔管理事業	商業・市街地活性化課	187	187
		計	79,923	56,923

<b>④ 「地域振興の知の拠点」の形成に向けた取組みの推進</b>	
<p>◇ 持続的で自立的な地域づくりに向けて、地域の内外の知見を融合させて新たな価値を創造・発信していく「地域振興の知の拠点」の形成を図ります。</p> <p>◇ 飯田市の社会教育関係機関、学輪IIDA(大学等ネットワーク)、市民研究団体、その他研究組織等による学術研究ネットワークの構築と、地域振興の知の拠点づくりに向けたあり方検討を進めるとともに、飯田市歴史研究所の暫定的な機能移転を行います。</p>	
<b>主管課／主な関係課</b>	
生涯学習・スポーツ課、歴史研究所／公民館、中央図書館、文化会館、美術博物館、企画課	

当事者目標 番号／ア.何を／イ.いつまでに／ウ.どのような状態にする	取組のポイント	連携する団体 及び期待する役割
<p>ア 地域振興の知の拠点構想を</p> <p>(1) イ 29年度中に</p> <p>ウ 策定する</p>	行政内の関係課による協議と、連携団体との協議を行い、「地域振興の知の拠点」に関する構想を策定するとともに、できるところから実践する	伊那谷研究団体連絡協議会(構想協議) 各種研究組織(構想協議) 学輪IIDA(構想協議)
<p>ア 飯田市歴史研究所を</p> <p>(2) イ 29年9月末までに</p> <p>ウ 別施設に移転する</p>	現在の所在施設である上郷自治振興センター施設の耐震改修のための改築工事にともない、他の公共施設(旧鼎東保育園)に暫定的に機能移転する	移転先地区の自治組織(受入協議)

当事者目標を実現する経費(該当する事務事業の総額) (千円)				
当事者目標(番号)	事務事業名	主管課	当初予算事業費	当初予算一般財源
(1)	社会教育推進事業	生涯学習・スポーツ課	2,231	2,178
(2)	歴史研究所管理事業	歴史研究所	53,220	53,170
		計	55,451	55,348

<b>⑤ 遠山郷の魅力の顕在化と情報発信</b>	
<p>◇ 豊富な自然・文化資源が存在する遠山郷の持つ価値を明らかにし、情報発信します。</p> <p>◇ 民俗芸能に係る調査研究と担い手・支え手の確保・育成支援、地域資源の文化財指定に向けた検討、南アルプスユネスコエコパーク・日本ジオパーク関連の情報発信、刊行物による歴史的景観の紹介等に取り組みます。</p>	
<b>主管課／主な関係課</b>	
生涯学習・スポーツ課、美術博物館、歴史研究所、上村公民館、南信濃公民館／環境課、観光課、上村自治振興センター、南信濃自治振興センター	

当事者目標 番号／ア.何を／イ.いつまでに／ウ.どのような状態にする	取組のポイント	連携する団体 及び期待する役割
<p>ア 遠山郷の地域資源について</p> <p>(1) イ 29年度を通じて</p> <p>ウ 市文化財指定と調査研究を進める</p>	既に調査が完了している物件について審議委員会の意見を聞き市文化財指定をめざすとともに、指定候補となる他物件についての詳細調査と評価資料の作成を行う	伊那谷自然友の会(調査・協力) 各地区保存組織等(協議・協力) 文化財審議委員会(審議)
<p>ア 霜月祭の保存継承について</p> <p>(2) イ 29年度を通して</p> <p>ウ 観覧条件・広報の基準づくりについて検討する 外部人材の支援意向のある地区の支え手・担い手を確保する</p>	南信州民俗芸能継承推進協議会に参画し、支え手・担い手確保の取組を推進するとともに、観覧者の受入や広報内容に関する意向聴取を行い、基準づくりの必要性を検討する	上村霜月祭保存会(協議・協働) 南信濃霜月祭保存会(協議・協働) 南信州民俗芸能継承推進協議会(協議・協働)

ア 遠山郷の歴史的景観について (3) イ 29年度中に ウ 刊行物を発刊する	飯田市歴史研究所を中心に行ってきた地域の歴史的景観の調査研究成果に基づき、遠山郷の景観を含めた書籍を編集・発行する	
ア 南アルプス ジオパーク・エコパークについて (4) イ 29年度を通して ウ 情報発信機能を高める	飯田市美術博物館において、企画展「世界最南端のライチョウがすむ南アルプス」を開催するとともに、要所への情報案内表示の整備を進める	伊那谷自然友の会(協働) 各地区地元関係団体(協議・協働) 南アルプスジオパークエコパーク協議会(協働)

当事者目標を実現する経費(該当する事務事業の総額) (千円)				
当事者目標(番号)	事務事業名	主管課	当初予算事業費	当初予算一般財源
(1)(2)	文化財保護事業	生涯学習・スポーツ課	18,437	18,185
(3)	歴史研究所事業	歴史研究所	21,060	17,040
(4)	美術博物館展示公開事業	美術博物館	20,897	14,891
(4)	美術博物館教育普及・活動支援事業	美術博物館	7,511	5,047
		計	67,905	55,163

指標補足事項
<p>●進捗状況確認指標</p> <p>①調査研究報告書等の発刊件数(件)</p> <p>・「伊那谷の自然と文化」をテーマにした学術研究の取組状況を図る指標。29年度中に、飯田市美術博物館、飯田市歴史研究所、飯田市立図書館、飯田市公民館、飯田文化会館、生涯学習・スポーツ課において発刊した報告書、紀要等の調査研究報告資料の合計件数</p> <p>②教育普及事業延参加者数(人)</p> <p>・「伊那谷の自然と文化」をテーマにした教育普及の取組状況を図る指標。29年度中に、飯田市美術博物館、飯田市歴史研究所、飯田市立図書館、飯田市公民館、飯田文化会館、生涯学習・スポーツ課で実施した「伊那谷の自然と文化」に関係するテーマを設定した学習事業の延参加者数の合計人数</p> <p>③指定等文化財の累計(件)</p> <p>・「伊那谷の自然と文化」をテーマにした保存継承の取組状況を図る指標。国の指定・登録・認定・選択文化財、長野県の指定、選択文化財、飯田市の指定文化財の累計件数</p> <p>④美術博物館来館者数(人)</p> <p>・「伊那谷の自然と文化」の活用状況を図る指標。伊那谷全域をまるごと博物館としてとらえ、ふるさと意識の醸成や、地域外からの来訪者を含めた交流人口の拡大を図る。そのために、「伊那谷の自然と文化」を広く紹介する玄関機能を有する飯田市美術博物館の魅力高め、来館者数を増やす</p>

<b>基本目標</b>	<b>5 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる</b>
<b>戦略 (考え方)</b>	◆ 産み育てたいと思う子どもの数の理想実現に向けた環境づくりを進めるとともに、子育てが孤立しない環境づくりと、地域の応援による子育てや見守りができるまちづくりを進めます。

**進捗状況確認指標**

指標(単位) 把握方法	基準	進捗			目標
	H28	H29	H30	H31	H32
合計特殊出生率 人口動態調査	1.76	-	-	-	1.80

**29年度戦略(具体的な取組)**

<b>① 信頼と絆で応援、健康な子育てのまちづくりの推進</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 子どもの健康を守り、子育て世代の経済的負担を軽減できる仕組みづくりを推進するとともに、仕事を保持しながら子育てができる環境づくりを進めます。</li> <li>◇ 飯田市子ども家庭応援センターを中心に相談から支援へ地域ぐるみの連携体制を強め、親子の成長・発達を支える仕組みづくりを進めます。地域のつながりや世代間の交流を通じ、子育ての喜びを感じられるまちづくりを進めます。</li> <li>◇ 里帰り分娩も含め安心して出産できる環境の維持・増強に努めます。妊産婦さんがほっとできる相談支援の充実を図ります。</li> </ul>
<b>主管課/主な関係課</b>
子育て支援課/福祉課、保健課、学校教育課、公民館、市立病院

当事者目標 番号/A.何を/I.いつまでに/U.どのような状態にする	取組のポイント	連携する団体 及び期待する役割
(1) ア 子育て世代の経済的負担軽減について イ 年度内 ウ 認定こども園の保育料の一部について、経済的負担を軽減するとともに、病児保育時間を検討する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認定こども園の保育料に関し1号認定(教育認定)の保育料徴収基準額の階層拡大を行う。</li> <li>・病児保育の利用時間延長について関係機関等との意見交換、検討、調整を行う。</li> </ul>	認定こども園園長会(教育・保育実施) 業務委託先(健和会) 下伊那郡町村(病児保育の定住自立圏形成協定に基づく) 病児保育利用者(ニーズ把握)
(2) ア 複雑化する子どもの発達相談支援に対する課題 イ 年度内 ウ 関係機関で共有し、ライフステージに沿った支援モデルを作る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て・発達相談ニーズ調査分析を行うとともに、関係機関会議を重ね、地域ぐるみでの早期発見や見守り強化のための情報連携への展開を図る。</li> </ul>	飯田保健福祉事務所(連携) 民生児童委員会(見守り)
(3) ア 公立保育園の特別保育のニーズ対応について イ 年度内 ウ 課題を共有し、地区に即したモデルとして導入支援する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域との研究、協議を進めて、モデル的事業の導入支援(地域内人材の確保と育成)をする。</li> <li>・運営組織・まちづくり委員会・行政による評価会議を開催して検証していく。</li> </ul>	まちづくり委員会(検討・実施) 運営組織(事業運営)
(4) ア 児童館・センター・クラブの開所時間を イ 平成29年度に ウ 18:30まで延長する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の勤務体制等の条件整備を行うとともに、閉所時間が18時の館・センター・クラブの運営員会に時間延長の要請・協議を行う。</li> </ul>	各館・クラブ・センター運営委員会(運営)
(5) ア 妊産婦 イ 通年 ウ 地元で安心して出産でき、不安なく産前産後の育児ができるようにする	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間医療機関と市立病院の機能分担により分娩体制を維持する。</li> <li>・保健師による妊産婦への産前の面談と産後の全戸訪問を行う。</li> <li>・助産師による育児相談の費用を助成する。</li> </ul>	飯伊地区包括医療協議会(関係機関の調整) 飯田医師会(医療機関の調整) 医療機関(診療) 助産師(相談)



当事者目標を実現する経費(該当する事務事業の総額)				(千円)
当事者目標(番号)	事務事業名	主管課	当初予算事業費	当初予算一般財源
(1)	保育料軽減事業	子育て支援課	345,251	345,251
(1)	病児保育事業	子育て支援課	22,549	12,219
(2)	子ども発達総合支援事業	子育て支援課	8,843	3,841
(3)	次世代育成支援対策事業	子育て支援課	79,412	32,925
(4)	児童館・児童センター・児童クラブ運営事業	学校教育課	142,229	76,429
(5)	乳幼児保健事業	保健課	16,950	16,013
		計	615,234	486,678

② すべての子どもの安心と希望の実現(子どもの貧困対策)	
◇ ひとり親家庭のほか、生活困窮者に対する早期的、包括的支援を図り、家庭の経済的支援と親子の精神的安定につなげます。関連して、発生しやすい児童虐待を予防し、安定した子育てを実現します。	
◇ 関係機関による情報共有と支援体制を整えます。	
主管課/主な関係課	
子育て支援課/福祉課、学校教育課	

当事者目標 番号/ア.何を/イ.いつまでに/ウ.どのような状態にする	取組のポイント	連携する団体 及び期待する役割
(1) ア 子どもがいる生活困窮世帯(ひとり親家庭等) イ 年度内 ウ 情報を共有・分析し、支援体制を構築する	・ひとり親家庭の子ども対象の学習支援事業を支援する。 ・ひとり親家庭の低所得世帯を対象にファミリーサポートの利用料を軽減する。 ・情報の把握から支援へ、連携のとれた体制となるよう、課題に対応して整備すべき社会資源等について検討する。	社会福祉協議会(まいさぼ飯田)(相談・支援) 地域住民(ファミリーサポートへの参画) 民生児童委員・主任児童委員(相談・見守り) NPO・事業者(事業実施)
(2) ア 児童虐待が疑われる又は放置すると虐待に陥る心配のある家庭に イ 年度中 ウ 早期に気づき、相談・援助し、虐待件数を減少させる	・構成機関代表者会議、実務者会議、個別ケース検討会議、受理会議を開催し、関係機関の連携体制を維持・向上させ、ケースに迅速かつ適切に対応する。	飯田市要保護児童対策地域協議会 (子育て支援ネットワーク協議会) (児童虐待の予防・対応)
(3) ア 就学援助における学校給食費の援助割合を イ 平成29年4月から ウ 従来の50%援助から全額援助とする	・対象者への広報を行う	

当事者目標を実現する経費(該当する事務事業の総額)				(千円)
当事者目標(番号)	事務事業名	主管課	当初予算事業費	当初予算一般財源
(1)	生活保護措置事業	福祉課	690,403	159,765
(1)	生活困窮者支援事業	福祉課	24,895	7,601
(1)	総合相談事業	福祉課	6,391	6,391
(1)	ひとり親家庭福祉推進事業	子育て支援課	9,339	6,811
(1)	母子・家庭・女性相談事業	子育て支援課	2,044	1,379
(1)	児童扶養手当給付事業	子育て支援課	432,213	288,142
(2)	こども家庭応援センター運営事業	子育て支援課	10,582	10,582
(2)	次世代育成支援対策事業	子育て支援課	79,412	32,925
(3)	小学校就学援助事業	学校教育課	38,923	37,926
(3)	中学校就学援助事業	学校教育課	40,513	39,701
		計	1,334,715	591,223

③ 「飯田版！上質な子育て環境」づくり

- ◇ 自然保育を中心に保育の質を高めるとともに、子どもや親が自然体験、食農体験など“いのち”とのふれあいを持つことができる環境づくりを地域ぐるみで進め、飯田市で子育てしたいと思えるような魅づくりに取り組みます。
- ◇ 子育て移住も視野に、市民公募の「みんなで子育て応援サポーター」を中心とした情報発信機能を強化します。
- ◇ 保護者に優しく、切れ目のない支援ツール(子育てアプリ等)としての情報媒体の研究を進めます。

主管課／主な関係課

子育て支援課／学校教育課

当事者目標 番号／ア.何を／イ.いつまでに／ウ.どのような状態にする	取組のポイント	連携する団体 及び期待する役割
(1) ア 「信州やまほいく」認定を イ 年度中 ウ 公立保育園全園で取得する	・「信州やまほいく」認定を取得し、自然保育の認知度を高めるとともに、実践的研究を通じた、保育の質向上を図る。	地域の個人・団体(保育実践での連携) 長野県(情報提供、研修の実施)
(2) ア 飯田市版の「地域と連携した自然型保育」 イ 年度中 ウ 地域と協力して研究する	・まずは、県の認定をステップに、園、保護者、地域などと協力して飯田市版の自然型保育のあり方を研究する。	市民(研究) まちづくり委員会(研究) 公立保育園保護者会(研究)
(3) ア 子育て情報誌「みんなで子育てナビ」を イ 通年 ウ 情報誌を充実させる	・みんなで子育て応援サポーターとの検討(構成、編集)や、イクメン手帳との情報連携等により、情報内容を充実させる。	つどいの広場連絡協議会(情報提供) みんなで子育て応援サポーター(編集)
(4) ア 飯田市の子育て情報を イ 年度中 ウ 携帯端末等で得られる環境づくりを進める	・飯田市子育てネットホームページの機能強化を図り、様々な端末等に対応できるwebサイトづくりの研究に取り組む。	つどいの広場連絡協議会(研究) みんなで子育て応援サポーター(研究)

当事者目標を実現する経費(該当する事務事業の総額)				(千円)
当事者目標(番号)	事務事業名	主管課	当初予算事業費	当初予算一般財源
(1)(2)	公立保育所施設整備事業	子育て支援課	27,200	27,200
(2)	民間保育所補助事業	子育て支援課	1,055	528
(3)(4)	次世代育成支援対策事業	子育て支援課	79,412	32,925
		計	107,667	60,653

<b>④ 結婚したいと思う若者へのライフデザイン支援</b>
<p>未来のパートナーとの出会いの機会を創出するため、結婚相談員・結婚支援アドバイザーによる結婚相談◇や各種イベントを行います。</p> <p>◇ ブライダルチェックの啓発や妊娠(不妊及び不育治療への対応)出産に対する支援の充実を図ります。</p>
<b>主管課／主な関係課</b>
福祉課／保健課、子育て支援課

当事者目標 番号／ア. 何を／イ. いつまでに／ウ. どのような状態にする	取組のポイント	連携する団体 及び期待する役割
<p>(1) ア カップル成立・結婚成立数</p> <p>イ 年度中</p> <p>ウ 70組・15人を目指す</p>	<p>・親又は同僚等多様な支援者による出会いの機会の創出と、若い世代に対する結婚意識の醸成を行う。</p>	<p>社会福祉協議会(企画・実施・運営)</p> <p>結婚相談員会(支援)</p> <p>まちづくり委員会(協力)</p> <p>事業者(連携・協力)</p>
<p>(2) ア 将来子どもを持つこととなる市民</p> <p>イ 通年</p> <p>ウ 出産に対する知識を身につける</p>	<p>・パンフレットの配布等により妊娠と出産に対する知識を啓発する。</p> <p>・7か月児相談時に高校生の乳児ふれあい体験学習を行う。</p>	<p>高等学校(参加)</p>
<p>(3) ア 不妊や不育を心配している夫婦</p> <p>イ 通年</p> <p>ウ 精神的な不安と経済的な負担を軽減する</p>	<p>・不妊及び不育の相談日を開設する。</p> <p>・不妊及び不育治療の費用を助成する。</p>	<p>不妊・不育相談員(相談)</p> <p>飯田医師会(医療機関の調整)</p> <p>医療機関(診療)</p>

当事者目標を実現する経費(該当する事務事業の総額) (千円)				
当事者目標(番号)	事務事業名	主管課	当初予算事業費	当初予算一般財源
(1)	ともに未来を支え合うパートナーづくり事業	福祉課	7,329	3,192
(2)	乳幼児保健事業	保健課	16,950	16,013
(3)	不妊治療費助成事業	保健課	9,453	9,453
計			33,732	28,658

<b>指標補足事項</b>
<p>●進捗状況確認指標</p> <p>・合計特殊出生率(平成31年度):「子育て応援プラン」における成果指標である1.8とした。</p> <p>●当事者目標</p> <p>・④(1)地域健康ケア計画の目標値</p>

<b>基本目標</b>	<b>6 「市民総健康」と「生涯現役」をめざす</b>
<b>戦略 (考え方)</b>	<p>◆ 市民一人ひとりが、心身ともに健やかに暮らすことで、家族や地域がいきいきと輝き続けられます。市民(個人・家族)、地域(団体・機関等)、行政(専門職)等の多様な主体が一緒になって役割を発揮し、健康寿命が延伸されるまちをつくります。</p>

**進捗状況確認指標**

指標(単位) 把握方法	基準	進捗			目標
	H28	H29	H30	H31	H32
65歳以上における要介護認定者割合(伸び率抑制) 長寿支援課調べ	18.80	-	-	-	20.40
介護予防事業への参加者数(いきいき教室等) 長寿支援課調べ	4,054	-	-	-	5,000

**29年度戦略(具体的な取組)**

<b>① 地域、家族とともに進める健康づくり</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 全ての人が生涯現役に向けて健康づくりに取り組むことを目指します。</li> <li>◇ 企業等と連携して、働き盛りの年代からの生活習慣病予防を進めます。</li> <li>◇ 特定健診受診者で生活習慣病重症化予防対象者への保健指導を実施します。</li> <li>◇ がん検診受診率向上のための普及啓発、受診促進に取り組みます。</li> <li>◇ 精密検査の受診率向上に取り組みます。</li> <li>◇ まちづくり委員会健康福祉委員会等との協働により、地域ぐるみで健康づくりを行います。</li> </ul>
<b>主管課/主な関係課</b>
保健課/ムトスまちづくり推進課

当事者目標 番号/ア. 何を/イ. いつまでに/ウ. どのような状態にする	取組のポイント	連携する団体 及び期待する役割
(1) ア 国保世帯の62歳健康づくり家庭訪問を イ 年間を通じて ウ 訪問率を78%以上にする	・3年間のまとめからの傾向を示した資料を基に訪問を実施する。 ・訪問成果を取りまとめ、次年度の計画立案に反映させる。	長野県看護大学(助言・指導)
(2) ア 重症化予防対象者への保健指導後一度でも医療機関を受療した人を イ 年間を通して ウ 60.5%にする(受療率)	・特定健診受診者で、生活習慣病重症化予防の対象者へ保健指導を実施する。	飯田医師会(医療機関の調整) 検診機関(健診)
(3) ア 飯田市子宮頸がん検診推計受診率を イ 年間を通して ウ 推計受診率を18.0%以上にする	・保育園の保護者向けに子宮頸がん及び乳がん検診のチラシを配布しがん検診の必要性と受診を呼びかける。 ・20・30歳女性と40・50・60歳の節目年齢で申込みのない方に再受診勧奨を行う。	飯田医師会(医療機関の調整) 検診機関(検診) まちづくり委員会(受診呼びかけ)

当事者目標を実現する経費(該当する事務事業の総額)				(千円)
当事者目標(番号)	事務事業名	主管課	当初予算事業費	当初予算一般財源
(1)(2)	一般健康相談事業	保健課	5,576	4,597
(3)	健康診査事業	保健課	77,321	72,719
		計	82,897	77,316

<b>② 介護予防の推進</b>
<p>◇ 全ての高齢者が主体的に介護予防や健康づくりに取り組むことができるように働きかけ、支援を行います。</p> <p>◇ 心身の状態に不安のある高齢者が、介護が必要な状態にならないようにするために、介護予防の事業への参加を促します。</p> <p>◇ 高齢者自身が、介護予防や日常生活支援の支え手として活躍することができるように、きっかけづくりを行います。</p>
主管課／主な関係課
長寿支援課／保健課

当事者目標 番号／ア. 何を／イ. いつまでに／ウ. どのような状態にする	取組のポイント	連携する団体 及び期待する役割
(1) ア いきいき全教室で10分以上の運動を イ 年間を通して ウ 実施する人数を8,000人以上とする	・ロコモティブシンドローム予防のため、いきいき教室で運動を積極的に実施する。	まちづくり委員会(運営補助)
(2) ア 介護予防サポーター イ 年度中 ウ 新規サポーター20人養成する	・社会福祉協議会に委託し、介護予防サポーター養成講座を開催し、通所型サービスBの運営を行うボランティアを養成する。	社会福祉協議会(運営) まちづくり委員会(参加呼びかけ) 児童民生委員会(参加呼びかけ) 地域包括支援センター(運営補助)
(3) ア 住民組織による介護予防教室の実施会場 イ 年度中 ウ 2会場増加させる	・地域包括支援センター及び社協と連携を図り会場を増やします。	地域包括支援センター(紹介) 社会福祉協議会(運営補助) まちづくり委員会(運営) NPO法人(運営)
(4) ア 各種介護予防教室の参加者 イ 年度中 ウ 参加実人員を4,200人に増やす	・いきいき、健脚大学、はつらつの自主化グループ等のPRを行い参加者の掘り起しを図る	シルバー人材センター(参加呼びかけ) 地域包括支援センター(紹介) まちづくり委員会(運営補助)

当事者目標を実現する経費(該当する事務事業の総額) (千円)				
当事者目標(番号)	事務事業名	主管課	当初予算事業費	当初予算一般財源
(1)(4)	高齢者健康づくり事業	保健課	10,938	2,407
(2)	介護予防・生活支援サービス事業	長寿支援課	301,329	66,293
(2)	包括的支援事業	長寿支援課	120,861	26,517
(1)(3)(4)	一般介護予防事業	長寿支援課	3,432	756
		計	436,560	95,973

<b>③ みんなで食べよう楽しい食事(食育の推進)</b>
<p>◇ 共食(誰かと食事を共にすること)を柱とした食育の充実を図ります。</p> <p>◇ 望ましい食習慣の実践に向けた啓発活動に取り組みます。</p>
主管課／主な関係課
保健課／子育て支援課、長寿支援課、学校教育課、工業課、危機管理室

当事者目標 番号／ア. 何を／イ. いつまでに／ウ. どのような状態にする	取組のポイント	連携する団体 及び期待する役割
(1) ア 朝食・夕食を家族と一緒に食べる「共食率」を イ 年間を通して ウ 朝食59%以上、夕食65%以上にする	・第2次食育推進計画に基づき、共食の普及啓発を図る。 ・各地区で親子料理教室を開催して、共食の周知を行う。	飯田市食生活改善推進協議会(協働) 栄養士会(運営補助) 小中学校PTA(参加呼びかけ)

(2)	ア 20～30歳代の一般男性と消防団員の朝食欠食率を イ 年間を通して ウ 一般の20歳代男性34%以下、30歳代男性22%以下にする 消防団20歳代男性35%以下、30歳代男性30%以下にする	・20～30歳代一般男性と消防団員の朝食欠食率が高いことから、企業への健康教室、消防団の健康教室で朝食摂取の必要性を伝える。	企業(実践) 消防団(実践)
-----	--	--	-------------------

当事者目標を実現する経費(該当する事務事業の総額)				(千円)
当事者目標(番号)	事務事業名	主管課	当初予算事業費	当初予算一般財源
(1)(2)	市民の健康づくり事業	保健課	4,696	4,083
		計	4,696	4,083

<b>④ 歩こう動こう プラステン(+10分)</b>	
◇ 今より1日10分、身体活動(生活における全ての動き)を増やす健康づくりに取り組みます。	
◇ 運動(ウォーキング、筋力運動、自転車、ラジオ体操、ストレッチ体操など)をきっかけとした健康づくりに取り組みます。	
主管課/主な関係課	
保健課/長寿支援課、子育て支援課、生涯学習・スポーツ課、公民館、ムトスまちづくり推進課	

当事者目標 番号/ア.何を/イ.いつまでに/ウ.どのような状態にする	取組のポイント	連携する団体 及び期待する役割
(1) ア プラステン(+10分)を実践している人の割合を イ 年間を通して ウ 32%以上にする	・ライフステージや個人の健康状態に応じた運動をすすめる。 ・各地区での健康教室でプラステンの実践方法を伝える。	まちづくり委員会(参加呼びかけ) 企業(実践) 消防団(実践)
(2) ア 週1回以上運動をする市民の割合を イ 年間を通して ウ 40%以上にする	・家庭訪問や特定健診等を通じて、運動による健康づくりをすすめる。 ・ライフステージや個人の健康状態に応じた運動をすすめる。	飯田市体育協会(協働) スポーツ推進委員協議会(協働)

当事者目標を実現する経費(該当する事務事業の総額)				(千円)
当事者目標(番号)	事務事業名	主管課	当初予算事業費	当初予算一般財源
(1)(2)	市民の健康づくり事業	保健課	4,696	4,083
		計	4,696	4,083

<b>⑤ 歯と口の健康づくり</b>
<p>◇ 歯と口の健康づくりが望ましい食生活の基礎となり生活習慣病予防につながる大事な要素であるという知識と実践力を身につける必要があるため、乳幼児保健や健康診査等を通じて、歯科保健に取り組みます。</p> <p>◇ 口腔ケアの啓発を通じる中で、高齢者が「むせ」と勘違いしやすい「誤嚥」への理解を深めるなど、家庭での肺炎リスクを減少させます。 (肺炎で亡くなる方の9割以上が75歳以上の高齢者で、その多くは誤嚥性肺炎が原因と言われています。)</p>
<b>主管課／主な関係課</b>
保健課／長寿支援課、子育て支援課、学校教育課

当事者目標 番号／ア. 何を／イ. いつまでに／ウ. どのような状態にする	取組のポイント	連携する団体 及び期待する役割
<p>(1) ア 3歳児でむし歯のない人を イ 年間を通して ウ 83.0%以上にする</p>	<p>・乳幼児健診時に、口腔内チェックと歯科保健指導を行う。 ・乳幼児学級やつどいの広場等において歯科保健指導を行う。</p>	飯田下伊那歯科医師会<医療機関の調整>
<p>(2) ア いきいき教室参加者への口腔ケア指導を イ 年度末までに ウ 200人以上に実施する</p>	<p>・歯科衛生士により、いきいき教室の参加者に正しい歯磨き、口の体操等の口腔ケアの指導を実施する。</p>	まちづくり委員会(運営補助)

当事者目標を実現する経費(該当する事務事業の総額)				(千円)
当事者目標(番号)	事務事業名	主管課	当初予算事業費	当初予算一般財源
(1)	乳幼児保健事業	保健課	16,950	16,013
(1)	一般健康相談事業	保健課	5,576	4,597
(2)	高齢者健康づくり事業	保健課	10,938	2,407
計			33,464	23,017

指標補足事項
<p>●当事者目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・①(1)H27は77.4%、H32に80% (2)H27は59.2%、H32に62% (3)H26は23.8%市17.0%、H32に24%</li> <li>・②(1)現在7,300人の10%アップ</li> <li>・(2)(3)の介護予防教室の開催に必要なサポーターの人数を設定</li> <li>・(3)29年度に開設が見込まれる介護予防教室数を目標設定</li> <li>・(4)戦略の確認指標から基準年度(平成29年度)の103%を目標として設定</li> <li>・③(1)国の共食率 朝食58.9% 夕食65%まで引き上げる 市の共食率 朝食55.4% 夕食61.3% (2)H26一般20歳代34.8% 30歳代23.1% 消防団20歳代41.1% 30歳代40.4%</li> <li>・④(1)H27は21.7%、H32に35% (2)市民アンケート5年間で37%前後</li> <li>・⑤(1)直近3年間の平均82.8%、H32に83.3% (2)20地区×10人</li> </ul>

<b>基本目標</b>	<b>7 共に支え合い、自ら行動する地域福祉を充実させる</b>
<b>戦略 (考え方)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 地域福祉活動の実践者である住民や地域活動組織が、多様な主体との協働で培ってきた活動実績(資産)をベースに、様々な制度や社会福祉事業者、民間事業者などと一緒になって「共助」を実践できるよう支援します。</li> <li>◆ 地域活動組織などの育成にあたっては、「身近な成功事例の積み重ね」が共有できる視点を大切にしていきます。</li> <li>◆ 住み慣れた地域での生活が続けられるよう、地域福祉活動と地域包括ケアシステムとの連携を進めます。</li> </ul>

**進捗状況確認指標**

指標(単位) 把握方法	基準		進捗		目標
	H28	H29	H30	H31	H32
創出される地域福祉活動のモデル数(件) 地域福祉活動計画の取組事例	-	-	-	-	40

**29年度戦略(具体的な取組)**

<b>① 多様な主体による日常生活における支援</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 住民支え合いマップを活用した日常生活における支援を推進します。</li> <li>◇ 集積所までのごみ運搬が困難な世帯について支援の拡充を図るほか、多様な主体による福祉有償運送の全市的な取組みを行います。また、地域住民、社会福祉事業者や民間事業者等による社会全体による見守りネットワークを構築し、支援へつなげます。</li> <li>◇ 地域の支え合いを実践する住民と専門職(介護・医療・福祉等の専門機関やスタッフ)が連携できる機能を整え、療養や介護の必要な高齢者が自宅で安心して暮らせる仕組みをつくります。また、地域の福祉課題を把握・共有し、協議する中から、課題解決のための具体策を事業化する事業者の立上げを支援します。</li> </ul>
<b>主管課/主な関係課</b>
福祉課/長寿支援課、保健課、子育て支援課、ムトスマちづくり推進課、男女共同参画課、環境課

当事者目標 番号/A. 何を/I. いつまでに/U. どのような状態にする	取組のポイント	連携する団体 及び期待する役割
<b>(1)</b> A 住民支え合いマップを活用した日常生活における支援 I 年間を通じて U 実施地区から他地区へ横展開する	・地域福祉計画・活動計画に基づき、社協の地域福祉コーディネーターが行政と協働し、身近なモデル事例等を、他のまちづくり委員会で共有できるようにし、主体的な実践活動の創出(横展開)へつなげる。	社会福祉協議会(推進・支援) まちづくり委員会(共助の実践者) 民生児童委員協議会(協力)
<b>(2)</b> A 「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づく許可 I 年度中 U 社会福祉事業者1者以上が地域福祉部門で新規参入する	・「廃掃法(略称)」に基づく一般廃棄物の収集運搬について、地域福祉を推進する社会福祉事業者が、地域福祉部門で新規参入できるように制度周知を図り、家庭内でのごみ分別や処理が困難な世帯への課題を解決する。	社会福祉事業者(共助の実践者)



(3)	ア	全ての地区の移動制約者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉協議会(各地区まちづくり委員会)やNPO法人など多様な主体による福祉有償運送の全市的な取り組みと支援を行い、全ての地区において、移動制約者の移動手段を確保する。</li> </ul>	社会福祉協議会(実施主体) まちづくり委員会(共助の実践者) 民生児童委員協議会(協力) 社会福祉法人(実施主体・共助の実践者) NPO法人(実施主体・共助の実践者)
	イ	年間を通じて		
	ウ	移動手段を確保する		
(4)	ア	見守り協定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間事業者と市が協定を締結し、民生児童委員協議会、各地区まちづくり委員会(住民支え合いマップの活用等)との協働による見守り体制を構築する。</li> <li>・異変を察知した際の早期発見と適切な保護、支援につなげる。</li> </ul>	民生児童委員協議会(共助の実践者) まちづくり委員会(共助の実践者) 民間事業者(共助の実践者) 社会福祉協議会(支援)
	イ	年度中		
	ウ	3件以上締結する		
(5)	ア	高齢者の日常生活における地域福祉課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別地域ケア会議から抽出された課題や地域包括支援センターの活動を通じて把握された福祉課題等の中から地域ケア会議にかける福祉課題を検討する。</li> <li>・まちづくり委員会等関係団体と会議の参加者等を調整し、地域ケア会議を開催する。</li> <li>・課題解決の方策について、地域や事業者と具体化(会議の方向性に基づき)できる研究を行う。</li> <li>・特に過疎地域で、地域包括ケアを支える医療・介護サービスを確保するための取組を地域・事業者と連携して進める。</li> </ul>	地域包括支援センター(地域の福祉課題を把握、会議を運営) まちづくり委員会(会議での議論に参加) 民生児童委員協議会(会議での議論に参加) 介護事業者(会議での議論に参加)
	イ	年間を通じて		
	ウ	地域住民などと専門職(医療・介護など)が地域ケア会議の場で議論する		
(6)	ア	多様な主体が参画する協議体を	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業者、関係団体に呼び掛けて協議体を設置する。</li> <li>・協議体での議論を通じ生活支援、サービスの需要、課題の把握するとともに、提供主体の拡大等を協議する。</li> </ul>	事業者(協議体での議論に参加) シルバー人材センター、まちづくり委員会、商工会議所(協議体での議論に参加) 地域包括支援センター、社協、NPO(協議体の運営を支援、協議体での議論に参加)
	イ	年度末まで		
	ウ	立ち上げる		
(7)	ア	事業立上げの意志のある者2者以上が	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の中で生活支援サービスの担い手の育成や関係者のネットワークの構築を行う生活支援コーディネーターを設置する。</li> <li>・コーディネーターが、福祉課題に対応する事業を立ち上げる意志のある人を発掘し相談等支援する。</li> </ul>	事業立上げの意志のある人(事業立上げを検討) NPO(事業の立上げを支援) 商工会議所(事業の立上げを支援) 起業に関係する専門職(事業の立上げを支援)
	イ	年度末まで		
	ウ	事業化を具体的に検討する		

当事者目標を実現する経費(該当する事務事業の総額)				(千円)	
当事者目標(番号)	事務事業名	主管課	当初予算事業費	当初予算一般財源	
(1)(2)(3)(4)	地域福祉推進事業	福祉課	65,971	65,713	
(1)(3)(4)(5)	福祉委員活動事業	福祉課	44,682	29,136	
(5)	在宅介護サービス確保対策事業	長寿支援課	200	200	
(6)	協議体設置運営事業	長寿支援課	500	109	
(7)	生活支援サービス創出コーディネート事業	長寿支援課	1,500	331	
			計	112,853	95,489

<b>② 認知症の人とその家族を支援する連携機能の充実</b>
<p>◇ 認知症初期集中支援チーム、認知症疾患医療センター等認知症の専門機関の連携を進め、認知症の人と家族の支援を効果的に実施します。</p> <p>◇ 認知症サポーターの育成を通じて、地域全体で認知症の人と家族を温かく見守る意識を醸成することにより、介護する家族の不安や悩みに応えます。</p> <p>◇ 介護離職が進行しない気運を地域と一体的に醸成します。成年後見制度の普及啓発等により認知症の人の権利擁護を進めます。</p>
<b>主管課／主な関係課</b>
長寿支援課／保健課

当事者目標 番号／ア. 何を／イ. いつまでに／ウ. どのような状態にする	取組のポイント	連携する団体 及び期待する役割
<p>(1) ア 認知症に関する相談者 イ 年度中 ウ 介護、医療につなげる</p>	・認知症初期集中支援チーム等による相談支援を実施する。	認知症疾患医療センター(実施主体・紹介) 地域包括支援センター(紹介・実施協力) 民生児童委員(紹介) 事業者連絡会(紹介・連携) 医師会(連携)
<p>(2) ア 認知症サポーター養成講座 イ 年度中 ウ 受講者400人にする</p>	・認知症サポーター養成講座により認知症に対する知識の普及を図る。	認知症キャラバンメイト(実施主体) 地域包括支援センター(実施主体) まちづくり委員会(開催協力・呼びかけ)
<p>(3) ア 認知症介護者のつどい イ 年度中 ウ 参加者60人</p>	・「認知症の人と家族の会」と協力し、介護者の会を開催し、介護者の心身のケアと相談を行う。	認知症の人と家族の会(実施主体・呼びかけ) 民生児童委員会(紹介) 事業者連絡会(紹介) 地域包括支援センター(紹介)
<p>(4) ア 地域包括支援センターでの介護者からの相談 イ 年度中 ウ 周知を行い相談に結び付ける</p>	・地域包括支援センターの活動のPRを深め、介護者からの相談に対応する。	地域包括支援センター(実施主体) 民生児童委員会(紹介) 事業者連絡会(紹介)
<p>(5) ア 成年後見制度の講演会、研修会等の参加者 イ 年度末までに ウ のべ400人以上</p>	・成年後見制度や高齢者等の権利擁護についての出前講座、講演会、研修会を開催し、成年後見制度等についての市民の理解を広める。	成年後見支援センター(実施主体) 社会福祉協議会(運営協力) 地域包括支援センター(運営協力・紹介)

当事者目標を実現する経費(該当する事務事業の総額)				(千円)
当事者目標(番号)	事務事業名	主管課	当初予算事業費	当初予算一般財源
(1)	認知症施策推進事業	長寿支援課	5,348	1,177
(2)(3)	認知症サポーター養成事業	長寿支援課	215	47
(2)(3)	家族介護支援事業	長寿支援課	4,858	1,058
(4)	包括的支援事業	長寿支援課	120,861	26,517
(5)	成年後見支援センター運営事業	長寿支援課	18,000	11,280
		計	149,282	40,079

<b>③ 地域とともに創る障がい児・者との共生社会の実現</b>
<p>◇ 障がい及び障がい児・者に対する正しい理解を深めるとともに、障がいを理由とした差別や虐待を受けることがないよう、障がい児・者の権利擁護を推進します。</p> <p>◇ 障がい者の重度化、高齢化や親亡き後を見据え、障がい児・者が住み慣れた地域で安心して暮らしているように、様々な支援を切れ目なく提供できる仕組み(地域生活支援拠点)を構築します。</p>
<b>主管課／主な関係課</b>
福祉課／ムトスまちづくり推進課

当事者目標 番号／ア. 何を／イ. いつまでに／ウ. どのような状態にする	取組のポイント	連携する団体 及び期待する役割
<p>(1) ア 障がい者理解啓発事業</p> <p>イ 年度中</p> <p>ウ 2事業500人参加する</p>	<p>・障害者週間等に合わせた意識啓発活動事業と文化芸術振興事業を実施し、障がい児・者に対する理解を深め、共生社会の実現を目指す。</p>	<p>市民、まちづくり委員会(参加)</p> <p>民生児童委員協議会(参加)</p> <p>障害福祉サービス等事業者(参加)</p> <p>社会福祉協議会(実施・参加呼びかけ)</p>
<p>(2) ア 障がい児・者に対する虐待防止に向けた支援</p> <p>イ 年度中</p> <p>ウ 実施し虐待を防止する</p>	<p>・養護者に対する負担軽減等の相談や、施設従事者に対する人権意識、知識や技術向上のための研修会を開催する。</p> <p>・虐待通報義務の周知等市民への普及啓発を行う。</p>	<p>市民(通報)</p> <p>民生児童委員協議会(通報・協力)</p> <p>南信州広域連合地域自立支援協議会(支援)</p> <p>障害福祉サービス等事業者(虐待防止)</p>
<p>(3) ア 障がい児・者の居住生活を地域全体で支えるサービス体制</p> <p>イ 年度中</p> <p>ウ 構築する</p>	<p>・居住支援(相談・体験の機会と場・緊急時の受け入れと対応等)のための機能を持つ事業所の連携による体制整備(案)を自立支援協議会に提案する。</p> <p>・第5期障がい福祉計画(案)と調整を図る。</p>	<p>南信州広域連合地域自立支援協議会(計画・運用)</p> <p>障害福祉サービス等事業者(参画)</p> <p>県(参画)</p> <p>圏域13町村(参画)</p>

当事者目標を実現する経費(該当する事務事業の総額)				(千円)
当事者目標(番号)	事務事業名	主管課	当初予算事業費	当初予算一般財源
(1)(2)	障害福祉推進事業	福祉課	76,358	58,478
(3)	地域生活支援事業	福祉課	106,969	50,805
		計	183,327	109,283

<b>指標補足事項</b>
<p>●進捗状況確認指標</p> <p>・地域福祉活動計画に各地区等の身近な取組事例を掲載し、情報を共有しながら、実践活動を他地区等へ横展開していく。横展開された創出数を進捗状況確認指標としている。</p> <p>社会福祉協議会の地域福祉コーディネーターと市が、地域福祉活動推進学習会、会議や研修会等の場を活用し把握する。</p> <p>●当事者目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・①(4)郵便局、新聞販売店、セブンイレブン</li> <li>・②(2)サポーター養成講座受講者数の実績から受講可能な人数を設定。小地域での開催を呼びかける</li> <li>・②(3)集いの参加者数の実績から同程度の人数を目標設定</li> <li>・②(5)講演会、研修会の参加者数の実績から同程度の人数を目標設定</li> <li>・③(1)実現可能な実績値・人口の0.5%</li> </ul>

<b>基本目標</b>	<b>8 新時代に向けたこれからの地域経営の仕組みをつくる</b>
<b>戦略 (考え方)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 少子化、高齢化、人口減少が進む中で、すべての地域住民が主体的に活動し、いつでも地域のくらしと自治を運営していけるように、「新時代の地域経営」の仕組みを構築します。</li> <li>◆ 地域が内発的に発展することを目的に、地域課題を解決する実行部隊の立ち上げ、運営の支援を行うとともに、多様な主体が連携した仕組みづくりを進めます。</li> </ul>

**進捗状況確認指標**

指標(単位) 把握方法	基準		進捗		目標
	H28	H29	H30	H31	H32
「田舎へ還ろう戦略事業」実施地区数(地区) 実績	-	-	-	-	20
地域課題対応事業体設立数(件) 実績	-	-	-	-	1

**29年度戦略(具体的な取組)**

<b>① ふるさとパワーアップ！20地区の個性を輝かせる(20地区「田舎へ還ろう戦略」支援事業)</b>
<p>◇ 20地区の個性を輝かせる各地区の重点事業＝「田舎へ還ろう戦略事業」を実行するため、ふるさと納税を原資とした交付金を交付し支援します。</p> <p>◇ 地域の課題を抽出し解決方法を検討する中で、地域おこし協力隊、集落支援員、生活支援コーディネーター等の制度を活用した有効な支援策の研究を進めます。</p>
<b>主管課/主な関係課</b>
ふるさと定住支援課/ムスまちづくり推進課、企画課

当事者目標 番号/A. 何を/I. いつまでに/U. どのような状態にする	取組のポイント	連携する団体 及び期待する役割
<p>(1) <b>A</b> 地区指定のふるさと納税制度 <b>I</b> 5月までに <b>U</b> 制度構築し、まちづくり委員会と連携して周知を図り寄附を募る</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区指定のふるさと納税の仕組みを構築</li> <li>・クレジット決済システムの導入</li> <li>・各地区への説明、協力依頼</li> <li>・各地区でもPRしてもらう。</li> <li>・各地区は、寄附者への御礼について、ファンづくりや交流に繋がるような内容を検討する。</li> </ul>	各地区まちづくり委員会
<p>(2) <b>A</b> 田舎へ還ろう戦略 <b>I</b> 年度中 <b>U</b> 各地区で実施しながら、地域経営アドバイザー等の知見を活用し、各地区人口ビジョン達成に向けた課題を整理、次年度実行に向けた各地区重点戦略を構築する</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各地区との協議、連携、支援</li> <li>・田舎へ還ろう戦略の実施</li> <li>・寄附の情報は随時地区へ提供</li> <li>・交付金の交付</li> <li>・各地区は、ファンづくりや交流に繋がる御礼を実施する。</li> <li>・各地区は、継続的に情報提供するなどファンづくりに努める。</li> <li>・人口ビジョン達成に向けた地区課題等協議</li> <li>・モデル地区を設定</li> <li>・地域経営アドバイザーとの研究</li> <li>・必要な支援策の検討</li> </ul>	各地区まちづくり委員会
<p>(3) <b>A</b> 空き家の活用事例 <b>I</b> 年度中 <b>U</b> 10件を目指す</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家の抽出、調査、空き家バンクへの登録</li> <li>・購入、賃貸希望募集</li> <li>・調整、宅建協会依頼、相談</li> <li>・契約支援</li> </ul>	各地区まちづくり委員会 建築士会飯伊支部 宅建協会南信支部飯伊不動産組合 飯田市空き家情報バンク委員会

当事者目標を実現する経費(該当する事務事業の総額) (千円)				
当事者目標(番号)	事務事業名	主管課	当初予算事業費	当初予算一般財源
(1)(2)	20地区田舎へ還ろう戦略支援事業	ふるさと定住支援課	8,530	0
(3)	総合的な空き家対策事業	ふるさと定住支援課	10,912	10,912
		計	19,442	10,912

② 地域課題に対応するための事業体の立ち上げと運営の支援
◇ 課題解決に対する個人や地域の思いをつなぎ具体的に事業化するための仕組みづくりと、事業を継続していくための支援の方策を検討します。
主管課/主な関係課
ふるさと定住支援課/ムトスマちづくり推進課、公民館、長寿支援課

当事者目標 番号/ア. 何を/イ. いつまでに/ウ. どのような状態にする	取組のポイント	連携する団体 及び期待する役割
(1) ア 地域課題を検討、あるいは田舎へ還ろう戦略を実施する中で イ 年度中 ウ 新たな事業体立ち上げに必要な仕組みを研究する	<ul style="list-style-type: none"> <li>田舎へ還ろう戦略の実施</li> <li>地域課題検討</li> <li>田舎へ還ろう戦略再構築検討</li> <li>人的支援検討</li> <li>新たな事業体立ち上げの仕組みづくりの研究</li> </ul>	各地区まちづくり委員会 地域おこし協力隊等 各地区関係団体等

当事者目標を実現する経費(該当する事務事業の総額) (千円)				
当事者目標(番号)	事務事業名	主管課	当初予算事業費	当初予算一般財源
(1)	20地区田舎へ還ろう戦略支援事業	ふるさと定住支援課	8,530	0
		計	8,530	0

<b>③ 地域自治を守り育むための仕組みづくり</b>
◇ 少子化、高齢化、人口減少時代における地域自治を守り育むため、市から地域への委託事業の見直しや、地区特性に見合った事業を実施できる仕組みづくり(全市統一型事業から地区の主体性を尊重した事業実施)など、地域と行政が協働して地域自治運営の形態をさぐっていきます。
<b>主管課／主な関係課</b>
ムトスマちづくり推進課／ふるさと定住支援課、公民館、福祉課、長寿支援課、保健課、環境課、危機管理室、学校教育課、生涯学習スポーツ課、男女共同参画課、土木課、林務課、総務文書課

当事者目標 番号／ア. 何を／イ. いつまでに／ウ. どのような状態にする	取組のポイント	連携する団体 及び期待する役割
(1) ア 市から地域への委託事業等について イ 年度末までに ウ 実態の検証を行い問題点を洗い出す	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委託、依頼事業等の調査、整理</li> <li>・所長会、庁内会議での検証、問題点の洗い出し</li> <li>・地区との意見交換</li> <li>・問題解決の方向性の検討</li> </ul>	各地区まちづくり委員会
(2) ア 各地区で、地区内の事業実施について イ 年度末までに ウ 実態の検証を行い次年度事業に反映する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各地区実施事業の検証</li> <li>・事業等の検討、見直し案の作成</li> </ul>	各地区まちづくり委員会 各地区地域協議会
(3) ア 地域自治組織の制度について イ 年度末までに ウ 実態の検証を行う	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域自治組織の制度について所長会での検証</li> <li>・庁内検討</li> <li>・まちづくり委員会での検討</li> <li>・地域経営アドバイザーとの協議</li> </ul>	各地区まちづくり委員会 各地区地域協議会 地域経営アドバイザー
(4) ア まちづくり委員会と飯田市が協働して イ 年度末までに ウ 組合加入促進コーディネーター活動460件を目指す	<ul style="list-style-type: none"> <li>・未加入者の調査</li> <li>・窓口案内コーナーの設置</li> <li>・地区組合加入コーディネーター活動実施</li> <li>・未加入者アンケート実施</li> </ul>	各地区まちづくり委員会

当事者目標を実現する経費(該当する事務事業の総額)				(千円)
当事者目標(番号)	事務事業名	主管課	当初予算事業費	当初予算一般財源
(1)(2)(3)	地域自治組織運営事業	ムトスマちづくり推進課	845	845
(4)	地域自治組織助成事業	ムトスマちづくり推進課	108,800	104,200
		計	109,645	105,045

<b>④ 中山間地域をもっと元気に見てみたい</b>
◇ 中山間地域の活発な市民活動の継続及び超高齢社会における暮らしの安定化と地域間交流・連携を促進するため、移住・定住促進、地域産業の活性化、地域の観光振興、地域公共再生可能エネルギーの活用などの7地区共通の課題に対し、一年一点の重点型でひと・もの・経済の活性化に資する事業を検討していきます。
<b>主管課／主な関係課</b>
ふるさと定住支援課／ムトスマちづくり推進課、観光課

当事者目標 番号／ア. 何を／イ. いつまでに／ウ. どのような状態にする	取組のポイント	連携する団体 及び期待する役割
(1) ア 中山間7地区の共通する課題 イ 年間を通じて ウ 1年1点の重点対策を実施し、解決への道筋をつける	・中山間7地区共通の課題を1点抽出する ・抽出した事業を1年の重点事業として解決に向けた取組をまちづくり委員会と協働して実施する ・地域経営アドバイザーとの連携 ・地域おこし協力隊の連携	中山間7地区まちづくり委員会 関係団体 地域経営アドバイザー 地域おこし協力隊
(2) ア 地域おこし協力隊 イ 年間を通じて ウ 中山間各地区の課題解決策を実行するため、支援の検討と地域の態勢づくりを行った上で導入する	・遠山地区、千代地区に加え三穂地区に導入する ・他の中山間地区の課題解決策を実行する地域おこし協力隊の導入に向けた検討を行う ・地域の受入れ、協力体制の整備を進める	中山間7地区まちづくり委員会 関係団体
(3) ア 中山間7地区の共通する課題 イ 年度末 ウ 次年度に進める1年1点の重点対策事業の検討を行う	・中山間7地区共通の課題を抽出し解決に向けた取組を整理する ・次年度実施する課題解決に向けたまちづくり委員会との協働事業の実施検討を行う	中山間7地区まちづくり委員会

当事者目標を実現する経費(該当する事務事業の総額)				(千円)
当事者目標(番号)	事務事業名	主管課	当初予算事業費	当初予算一般財源
(1)(2)	中山間地域振興事業	ふるさと定住支援課	60,841	34,641
(1)	上村自治振興センター事業	ふるさと定住支援課	8,520	0
(1)	南信濃自治振興センター事業	ふるさと定住支援課	4,200	0
(1)	地域振興住宅事業	ふるさと定住支援課	44,023	4,000
(1)	20地区田舎へ還ろう戦略支援事業	ふるさと定住支援課	8,530	0
		計	126,114	38,641

<b>指標補足事項</b>
<p>●進捗状況確認指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさと納税を原資とした「田舎へ還ろう戦略事業」実施地区を徐々に増やし、4年後には全地区実施を目指す。</li> </ul> <p>●当事者目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・①(3)28年度の空き家契約成立数は2件。29年度は二桁の活用事例を目標とする。</li> <li>・③(4)27年の組合加入促進コーディネーター活動全地区合計件数は398件、28年は430件で32件増加した。同程度の増加を目標とし、全地区合計活動件数を460件とする。</li> </ul>

<b>基本目標</b>	<b>9 個性を尊重し、多様な価値観を認め合いながら、交流する</b>
<b>戦略 (考え方)</b>	◆ 市民の誰もが主体的に参画できる「多様性をいかした地域づくり」に向けて、人権と個性を尊重しつつ共に生きる人づくり・環境づくりを進めます。

**進捗状況確認指標**

指標(単位) 把握方法	基準		進捗		目標
	H28	H29	H30	H31	H32
市民活動・地域活動に参加している市民の割合 (%) 市民アンケート	60.00	-	-	-	70.00

**29年度戦略(具体的な取組)**

<b>① 誰もが安心して地域で活躍できる、ひと・まちづくり</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 年代、性別、言語、心身の状況などの多様性を理解し、人権と個性を尊重し合い、住民の総力で地域自治を運営するための、各種人権教育・啓発を推進します。</li> <li>◇ ワーク・ライフ・バランスのとれた働き方・暮らし方を推進します。</li> <li>◇ 自ら学び、交流し、適切な消費の選択ができる消費者教育を推進します。</li> </ul>
<b>主管課/主な関係課</b>
男女共同参画課/子育て支援課、産業振興課

当事者目標 番号/ア.何を/イ.いつまでに/ウ.どのような状態にする	取組のポイント	連携する団体 及び期待する役割
(1) ア 従業員100人以上の事業所 イ 年度末までに ウ 30%の事業所が女性活躍推進一般事業主行動計画を立てる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さらなるワーク・ライフ・バランスの推進に向けた取組の検討</li> <li>・各種啓発の実施</li> <li>・事業主や従業員向けの効果的なワークライフバランス研修の実施</li> </ul>	商工会議所 職業安定協会
(2) ア 市民 イ 年度末までに ウ 世代に応じた消費者教育を受ける機会を創出する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消費生活センターの充実・持続的運営</li> <li>・消費者教育プログラムの構築</li> <li>・消費者が自ら学び合う学習交流機会の創出</li> </ul>	南信消費生活センター 消費者市民団体
(3) ア 市民団体等 イ 年度末までに ウ 特殊詐欺被害撲滅に取り組む	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安心メールの活用</li> <li>・関係機関との連携による啓発・注意喚起</li> </ul>	市民団体 事業所

**当事者目標を実現する経費(該当する事務事業の総額) (千円)**

当事者目標(番号)	事務事業名	主管課	当初予算事業費	当初予算一般財源
(1)	人権・男女共同参画推進事業	男女共同参画課	2,737	2,687
(1)	次世代育成支援対策事業	子育て支援課	79,412	32,925
(2)(3)	消費生活センター事業	男女共同参画課	8,328	2,241
		計	90,477	37,853



<b>② 市民活動団体のパワーアップ！</b>
◇ 市民団体の継続性の強化、新たなニーズを踏まえた市民活動団体の立上げ、地域内外での団体間交流などの広がりによる、活力ある地域社会づくりに取り組みます。
主管課／主な関係課
ムトスマちづくり推進課／ふるさと定住支援課、公民館、男女共同参画課、福祉課、

当事者目標 番号／ア. 何を／イ. いつまでに／ウ. どのような状態にする	取組のポイント	連携する団体 及び期待する役割
(1) ア ムトス推進委員会と飯田市 イ 年度中 ウ 市民活動が活発となる内容、体制等について研究し、新たな団体の立ち上げや交流を進めるための実行部隊組織を立ち上げる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ムトス飯田推進委員会での課題の整理</li> <li>・事例研究、先進地視察</li> <li>・実行部隊組織体制、委員等検討</li> <li>・実行部隊組織立ち上げ</li> </ul>	ムトス飯田推進委員会 市民、市民活動団体、NPOなど

当事者目標を実現する経費（該当する事務事業の総額）				
(千円)				
当事者目標(番号)	事務事業名	主管課	当初予算事業費	当初予算一般財源
(1)	市民協働推進事業	ムトスマちづくり推進課	8,027	2,012
		計	8,027	2,012

<b>③ 共生のためのユニバーサルデザイン</b>
◇ 高齢社会を踏まえ、誰もが主体となって地域活動に加われるよう、地域の集会施設等のバリアフリー化を推進します。
主管課／主な関係課
ムトスマちづくり推進課／ふるさと定住支援課、男女共同参画課、福祉課、長寿支援課、地域計画課

当事者目標 番号／ア. 何を／イ. いつまでに／ウ. どのような状態にする	取組のポイント	連携する団体 及び期待する役割
(1) ア 自治活動組織と飯田市 イ 年度末 ウ 集会施設のバリアフリーの実態を把握し、地域のニーズに応じた支援策を研究し、方向性を決定する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区や組合単位の集会所のバリアフリー状況を調査</li> <li>・その上で、自治活動組織のバリアフリーに対するニーズを分析し、支援策を研究</li> </ul>	自治活動組織

当事者目標を実現する経費（該当する事務事業の総額）				
(千円)				
当事者目標(番号)	事務事業名	主管課	当初予算事業費	当初予算一般財源
(1)	集会施設整備補助事業	ムトスマちづくり推進課	8,432	8,432
		計	8,432	8,432

<b>④ 多様性を地域に活かす言語バリアフリー</b>
◇ 母語が異なっても、地域住民として共に暮らし、市民活動に参画できる、多文化共生の地域づくりを進めます。
<b>主管課／主な関係課</b>
男女共同参画課／学校教育課、保健課、危機管理室

当事者目標 番号／ア. 何を／イ. いつまでに／ウ. どのような状態にする	取組のポイント	連携する団体 及び期待する役割
(1) ア 外国人住民 イ 年度末までに ウ 災害に対する備えができ、災害や疾病の際にコミュニケーションがとれる	・自動音声翻訳アプリの普及促進 ・防災・避難情報が多言語でわかる仕組みづくり ・医療通訳派遣制度の研究・構築 ・多言語相談窓口の運営	県国際課、県国際化協会 飯田国際交流推進協会 医師会、包括医療協議会
(2) ア 外国人児童生徒等 イ 年度末までに ウ 地元で進学・就職する機会が増す	・定住外国人の子供の学習支援、就学促進や進学ガイダンスの実施 ・多文化共生を考えるつどい、国際交流の夕べなど多文化共生・国際交流を推進する市民活動の支援	県国際化協会 飯田国際交流推進協会

当事者目標を実現する経費(該当する事務事業の総額) (千円)				
当事者目標(番号)	事務事業名	主管課	当初予算事業費	当初予算一般財源
(1)(2)	多文化共生社会推進事業	男女共同参画課	4,102	4,072
(2)	小学校教育振興事業	学校教育課	108,991	108,276
(2)	中学校教育振興事業	学校教育課	93,188	92,617
		計	206,281	204,965

<b>指標補足事項</b>
<p>●進捗状況確認指標</p> <p>・市民アンケートによる「市民活動・地域活動に参加している市民の割合」は、平成28年度(基準年)では60%であり、4年後は10ポイント増の70%を目標とする。</p>

<b>基本目標</b>	<b>10 豊かな自然と調和し、低炭素なくらしをおくる</b>
<b>戦略 (考え方)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 様々な環境教育や環境学習を展開するとともに、適切な環境情報を提供することで、より高い市民意識を醸成し、環境美化活動、自然環境保全活動、低炭素なくらし、低炭素な企業活動を推進します。</li> <li>◆ 地域環境権を活用した再生可能エネルギーによる持続可能な地域づくりを全市に拡大することで、地域全体として低炭素な社会を構築します。</li> </ul>

**進捗状況確認指標**

指標(単位) 把握方法	基準	進捗			目標
	H28	H29	H30	H31	H32
温室効果ガス削減量(t-co2) 構成事務事業の積み上げ	0	-	-	-	3,218
自然とふれあいを持ったことのある市民の割合(%) 市民アンケート	53.80	-	-	-	60.00

**29年度戦略(具体的な取組)**

<b>① 環境意識を醸成する人づくり地域づくり</b>
<p>◇ 学校や公民館における環境学習のプログラムや実施をサポートする体制を構築します。環境学習を担う人材バンクの整備やコーディネート等を行うことによって、新たな環境学習の機会を創出していきます。</p> <p>◇ 「いいだ環境通信」として月1回または特別な時(不法投棄発見等)に、「いいだ安全安心メール」を使い、市民や環境関連団体の構成員、環境ISO取得企業の社員へ配信し、広く広報します。また、QRコードを広め、誰でも登録できて情報を知り得る仕組みとし、市民の環境意識を高めます。</p>
<b>主管課/主な関係課</b>
環境課/美術博物館、公民館、中央図書館、林務課、農業課、保健課、男女共同参画課、危機管理室

当事者目標 番号/ア.何を/イ.いつまでに/ウ.どのような状態にする	取組のポイント	連携する団体 及び期待する役割
(1) ア 市民 イ 年度中 ウ 環境学習プログラムを利用しやすくなる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境学習プログラムを把握し整理し、コーディネートして提供する</li> <li>・環境アドバイザー10名を13名にして、プログラム数を増やす</li> <li>・保育園、小中学校、公民館等にプログラムを提供する</li> </ul>	伊那谷自然友の会 環境アドバイザー連絡会 保育園
(2) ア 園児(幼児) イ 年度末 ウ 野外において自然環境保全に関する活動などを体験できるようにする	<ul style="list-style-type: none"> <li>・可能な野外体験について検討する</li> <li>・実施可能な野外プログラムデータを提供する。</li> </ul>	保育園、幼稚園、 信州型自然保育の認定者 保護者会
(3) ア 飯田市 イ 年度中 ウ 環境啓発メール「いいだ環境通信」を配信して、意識啓発する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「いいだ環境通信」という啓発メール配信の開始を周知する</li> <li>・通信の内容は月替わりで設定する</li> <li>・特別な時には通信を発する</li> </ul>	環境関連団体の構成員 環境ISO取得企業 市民

当事者目標を実現する経費(該当する事務事業の総額)				(千円)
当事者目標(番号)	事務事業名	主管課	当初予算事業費	当初予算一般財源
(1)(2)(3)	環境教育推進事業	環境課	2,141	2,141
(1)	エコライフ啓発普及事業	環境モデル都市推進課	3,320	3,320
		計	5,461	5,461

<b>② 再生可能エネルギーで進める持続可能な地域づくり</b>
<p>◇ 住民主体の小水力発電事業である小沢川小水力発電事業や、学校太陽光発電事業など、再生可能エネルギーを活用したコミュニティビジネスの創出を地域環境権条例により積極的に支援し、持続的な地域づくりの実現に寄与します。</p> <p>◇ 従来の家庭用太陽光利用等による温室効果ガス削減を引き続き推進するとともに、家庭用蓄電池の普及に取り組みます。</p>
<b>主管課／主な関係課</b>
環境モデル都市推進課／ムスまちづくり推進課、ふるさと定住支援課、林務課、学校教育課

当事者目標 番号／ア.何を／イ.いつまでに／ウ.どのような状態にする	取組のポイント	連携する団体 及び期待する役割
<p>(1) ア 地域団体 イ 年度中 ウ 地域環境権を行使し地区内小中学校等で再生可能エネルギー事業を実施する</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域環境権行使の働きかけ</li> <li>・再エネ導入支援審査会による支援</li> </ul>	<p>地域団体 事業者</p>
<p>(2) ア かみむら小水力株式会社と飯田市 イ 年度末 ウ 協働して発電事業に必要な詳細設計を完了する</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・許認可事前協議(4～6月)</li> <li>・許認可本協議(7月～3月)</li> <li>・詳細設計(7月～)</li> </ul>	<p>かみむら小水力株式会社</p>
<p>(3) ア 市民 イ 年度中 ウ 200件の市民が新たに太陽光発電設備を設置し温室効果ガスの削減に寄与する</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制度設計(4～5月)</li> <li>・補助制度周知(6月)</li> <li>・補助交付開始(6月～3月上旬)</li> </ul>	<p>市民</p>

当事者目標を実現する経費(該当する事務事業の総額) (千円)				
当事者目標(番号)	事務事業名	主管課	当初予算事業費	当初予算一般財源
(1)	環境モデル都市行動計画進行管理事業	環境モデル都市推進課	2,184	2,184
(2)	新エネルギー推進リーディング事業	環境モデル都市推進課	9,163	9,163
(3)	おひさまのエネルギー利用推進事業	環境モデル都市推進課	33,527	28,927
		計	44,874	40,274

③ リニア時代を見据えた低炭素な地域づくり	
<p>◇ リニア駅周辺について、街区単位での低炭素化を推進する検討を行い、駅施設(市活用部分)を含めた駅前広場及び周辺街区への再生可能エネルギー及び未利用エネルギーを活用した低炭素空間創出のため、駅周辺整備計画と連動したエネルギーシステムとエネルギーマネジメントの一体的な整備検討を進めます。</p> <p>併せて、再生可能エネルギーや省エネルギーシステムを活用した飯田らしい駅舎デザインの検討を進めます。</p> <p>◇ 住宅ストックの省エネ化の推進について、国等の省エネ支援策も活用しつつ、当地域にふさわしい建築仕様を策定し、普及する仕組みを研究します。</p> <p>◇ 渋谷区との交流事業を拡充し、排出権取引を見据えた都市部との協働による温暖化対策とそれに伴う地域間交流を推進します。</p>	
主管課／主な関係課	
環境モデル都市推進課／リニア整備課、地域計画課	

当事者目標 番号／ア. 何を／イ. いつまでに／ウ. どのような状態にする	取組のポイント	連携する団体 及び期待する役割
<p>(1) ア 飯田市及び関係者 イ 年度末 ウ リニア駅周辺整備基本計画における再生可能エネルギー活用方針を決定する</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査方法の設計(4月)</li> <li>・調査委託業者選定(5~6月)</li> <li>・調査実施(7月~)</li> <li>・調査結果とりまとめ・分析(12月~3月)</li> </ul>	
<p>(2) ア 市内建築士と飯田市 イ 年度末 ウ 地域の気候風土にあった省エネ建築方針(新築・改修)を研究する</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関連セミナーへの参加</li> <li>・先進地情報の収集</li> <li>・ZEB/ZEH研究会での検討</li> </ul>	(公社)日本都市計画学会 (一社)長野県建築士会
<p>(3) ア 渋谷区民と飯田市民 イ 年度中 ウ 温室効果ガス排出権取引を見据えた交流を実施する</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏季交流の受入(7月)</li> <li>・秋季交流の受入(10月)</li> <li>・渋谷区での交流(通年)</li> <li>・排出権取引を目指した渋谷区との研究開始(上半期)</li> </ul>	市民(下久堅・座光寺地区) 渋谷区民 渋谷区

当事者目標を実現する経費(該当する事務事業の総額) (千円)				
当事者目標(番号)	事務事業名	主管課	当初予算事業費	当初予算一般財源
(1)	新エネルギー推進リーディング事業	環境モデル都市推進課	9,163	9,163
(2)	省エネルギー推進事業	環境モデル都市推進課	251	251
(3)	もりのエネルギー利用推進事業	環境モデル都市推進課	6,852	4,160
		計	16,266	13,574

<b>④ 地域ぐるみで取り組むエコ活動・エコライフの推進</b>
<p>◇ 地域ぐるみ環境ISO研究会の組織強化、「南信州いいむす21」のシステム改善を支援します。</p> <p>◇ ISO 14001推進事業、「保育園いいむす21」、「学校のいいむす21」の運用と、高校や短大を重点とした働きかけを進めます。</p> <p>◇ 家庭におけるエネルギー使用の実態や省エネ活動等を把握するための有効な手段・技術等の調査研究に取り組みます。</p>
<b>主管課／主な関係課</b>
環境モデル都市推進課／企画課、子育て支援課、学校教育課

当事者目標 番号／ア.何を／イ.いつまでに／ウ.どのような状態にする	取組のポイント	連携する団体 及び期待する役割
<p>(1) ア 地域ぐるみ環境ISO研究会 イ 年度末 ウ 各社が2015年版ISO規格へ対応した上で、研究会として、南信州いいむす21規格改訂に向けた研究に着手する</p>	<p>・2015年版ISO規格への対応 ・上記を踏まえた「南信州いいむす21」新規格の検討</p>	<p>南信州広域連合 地域ぐるみ環境ISO研究会</p>
<p>(2) ア 地域内の高校・短大 イ 年度末 ウ 南信州いいむす21を活用して環境改善活動に取り組む</p>	<p>・意識調査(4～7月) ・取組方法の検討(8～3月)</p>	<p>南信州広域連合 地域ぐるみ環境ISO研究会 南信州地域に所在の高校、短大</p>
<p>(3) ア 地域ぐるみ環境ISO研究会と飯田市 イ 年度中 ウ 家庭部門の省エネの実態把握と推進方法を研究する</p>	<p>・情報収集 ・家庭部門における省エネ推進方法の検討</p>	<p>地域ぐるみ環境ISO研究会いいこすプロジェクト</p>

当事者目標を実現する経費(該当する事務事業の総額) (千円)				
当事者目標(番号)	事務事業名	主管課	当初予算事業費	当初予算一般財源
(1)(2)(3)	ISO14001推進事業	環境モデル都市推進課	509	509
		計	509	509

<b>⑤ ユネスコエコパークから広がる森と動植物の保全</b>
<p>◇ 遠山郷に拠点を置く各種団体や関係機関と協働して、自然環境の尊さを啓発し、保全に努めます。</p> <p>◇ 固有種や希少動植物の保護に取り組む団体を支援します。</p> <p>◇ 緑と生物多様性の保全において、市民や企業との関わりが進展する森づくりを推進します。</p>
<b>主管課／主な関係課</b>
環境課、林務課／美術博物館、生涯学習スポーツ課、公民館、上村・南信濃自治振興センター、観光課、地域計画課

当事者目標 番号／ア.何を／イ.いつまでに／ウ.どのような状態にする	取組のポイント	連携する団体 及び期待する役割
<p><b>ア</b> 南アルプスユネスコエコパーク・ジオパークの魅力を語るガイド</p> <p><b>イ</b> 年度中</p> <p>(1)</p> <p><b>ウ</b> 養成する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南アルプスユネスコエコパークにおける登山道誘導標識について、連携する団体と協議して設置に取り組む。</li> <li>・ハイランドしらびそ訪問者に対し、エコ・ジオおよび遠山郷の情報を伝える。</li> <li>・各種講座を開催する。</li> <li>・遠山郷の催事等を広報する。</li> <li>・社会科副読本(小4対象)で啓発する。</li> </ul>	遠山郷観光協会 南アルプス自然環境保全活用連携協議会 遠山山の会、遠山里山倶楽部 ジオガイドの会
<p><b>ア</b> 希少動植物の保全に取り組む団体等と飯田市</p> <p><b>イ</b> 年度中</p> <p>(2)</p> <p><b>ウ</b> 連携のための連絡会を開催して生息区域などの情報を共有する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・希少動植物の保護を発信する。</li> </ul>	伊那谷自然友の会 下伊那地方事務所環境課(南信州・希少野生植物保護対策会議) 環境チェッカー 長野県環境保全研究所 希少動植物の保全活動団体
<p><b>ア</b> 多様な主体(市民、事業者、NPO等)</p> <p><b>イ</b> 年度中</p> <p>(3)</p> <p><b>ウ</b> 継続的な普及啓発活動が出来るよう、組織体制と活動拠点の基盤づくりに着手する</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民参加型で効果的な普及啓発活動の在り方について、関係者と協議する。</li> </ul>	市民、企業、団体、まちづくり委員会、NPO等 財産区、森林関係者、生産森林組合、飯伊森林組合

当事者目標を実現する経費(該当する事務事業の総額) (千円)				
当事者目標(番号)	事務事業名	主管課	当初予算事業費	当初予算一般財源
(1)(2)(3)	自然環境保全推進事業	環境課	1,885	1,885
(3)	森づくり市民活動支援事業	林務課	894	894
		計	2,779	2,779

<b>⑥ リニア時代を見据えた生活環境保全</b>
◇ リニア中央新幹線の工事をはじめ大型公共工事について、環境影響を確認し、市が測定や指導を行うほか適切な措置等によって地域へ情報共有を図り、協働して生活環境を保全します。
<b>主管課／主な関係課</b>
環境課／農業課、経営管理課、下水道課、下水浄化センター、土木課、地域計画課、リニア推進課

当事者目標 番号／ア. 何を／イ. いつまでに／ウ. どのような状態にする	取組のポイント	連携する団体 及び期待する役割
<p style="text-align: center;">ア 飯田市は、市民の生活環境を保全するために</p> <p>(1) <b>イ</b> リニア中央新幹線等の大型工事の着工前、工事中、終了後において</p> <p><b>ウ</b> 必要に応じて環境測定等をおこなう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境影響が想定される箇所等の情報を収集する。</li> <li>・必要に応じて環境測定を実施し、環境基準の超過の有無を確認する。</li> <li>・観測や測定等のデータを蓄積する。</li> </ul>	下伊那地方事務所環境課 事業主体 環境測定事業所 広域消防

当事者目標を実現する経費(該当する事務事業の総額) (千円)				
当事者目標(番号)	事務事業名	主管課	当初予算事業費	当初予算一般財源
(1)	環境汚染対策事業	環境課	13,461	13,461
		計	13,461	13,461

指標補足事項
<p>●進捗状況確認指標</p> <p>・温室効果ガス削減量(t-co2)は事業効果の積み上げ。期間中の増加目標ということを明らかにするために基準年の28年度をゼロとした。                      積み上げ対象事業は、太陽光発電、太陽熱利用、木質バイオマス(ペレット、薪、将来的な小型バイオマス発電)、小水力発電とした。</p> <p>・自然とふれあいを持ったことのある市民の割合(%)は市民アンケートの結果であり、市民の動態が直に示される。市民が自然とより一層関わりを深めることが理想であり、現状維持以上かつ達成の可能性を鑑みて6割を目標とした。</p> <p>●当事者目標</p> <p>・①-(1) 環境アドバイザーは現在10人を3割アップして13人にする。</p> <p>・②-(3) 平成28年度における市民の太陽光発電設備の実績を維持し200件とする。</p>



<b>基本目標</b>	<b>11 災害に備え、社会基盤を強化し、防災意識を高める</b>
<b>戦略 (考え方)</b>	◆ 自助、共助を支援する環境の整備に取り組み、安全安心に暮らせるまちを目指し、市民が備える防災力の向上、地域で取り組む防災・減災のまちづくり、情報伝達・収集機能の充実に取り組みます。

**進捗状況確認指標**

指標(単位) 把握方法	基準		進捗		目標
	H28	H29	H30	H31	H32
防災訓練に参加する市民人数(人) 各地区防災訓練参加者の実績集計	38,000	50,000	-	-	55,000
長寿命化計画中緊急輸送路関連橋梁の修繕工事完了数(橋梁) 修繕工事完了橋梁数実績	7	-	-	-	55

**29年度戦略(具体的な取組)**

<b>① 命と生活を守る市民防災力の向上</b>
◇ 地区防災計画、ハザードマップ等による防災意識及び避難のあり方についての、講話等啓発活動により、災害時の取るべき行動の実践力向上を図ります。
◇ 避難情報をはじめとした情報伝達態勢の強靱化を行い、災害弱者の屋内での被害をなくします。
<b>主管課/主な関係課</b>
危機管理室/男女共同参画課、ムトスマちづくり推進課、福祉課

当事者目標 番号/A. 何を/I. いつまでに/U. どのような状態にする	取組のポイント	連携する団体 及び期待する役割
(1) ア ハザードマップ更新に合わせ イ 年度末までに ウ わが家の避難計画等の作成を行う	年間通じて防災担当職員の派遣やハザードマップ更新に合わせた、わが家の避難計画づくり説明会の開催	自主防災組織(参加の呼びかけ) 防災関係機関(専門的知識のサポート)
(2) ア 要支援者宅の家具転倒防止推進 イ 年度末に ウ 実態調査を行う	要支援者宅を訪問し、家具転倒防止の対応状況を把握する	自主防災組織(調査協力) まちづくり委員会等(状況確認)

当事者目標を実現する経費(該当する事務事業の総額)				(千円)
当事者目標(番号)	事務事業名	主管課	当初予算事業費	当初予算一般財源
(1)(2)	防災対策推進事業	危機管理室	80,743	38,435
		計	80,743	80,743

<b>② みんなが安心して暮らせる防災・減災のまちづくり</b>	
◇ 自主防災組織が行う訓練や活動を高める支援を行い、災害発生時に避難所の開設や運営が確実にできる体制を構築します。 ◇ 第11次消防力整備計画に沿った消防団の消防力維持のため団員の確保を図ります。 ◇ 増加する高齢者交通事故の発生件数を半減させます。	
主管課／主な関係課 危機管理室／ムトスマちづくり推進課	

当事者目標 番号／ア. 何を／イ. いつまでに／ウ. どのような状態にする	取組のポイント	連携する団体 及び期待する役割
(1) ア 避難所の開設訓練を イ 年度末までに ウ 全20地区において取組む	年2回行う防災訓練の計画立案、訓練実施、反省を踏まえて各避難所開設・運営マニュアルの更新を行う	自主防災組織(立案・訓練実施)
(2) ア 消防団員を イ 第11次消防力整備計画期間(H32年度) ウ 定員1345名の確保を目指す	消防団員退職者に対する新入団員を20%増を目指す。消防団ホームページの確立(機能更新、イベント情報の掲載等)するとともに、あらゆる機会を捉え加入促進を図る新入団員募集、受付等の啓発	飯田市消防団(広報、啓発・遂行)各まちづくり委員会(勧誘支援)広域消防本部(推進・助言)
(3) ア 高齢者の交通人身事故件数を イ H32年度に ウ H28年対比で50%減を目指す	高齢者事故多発個所の生活道路安全対策強化、高齢者交通安全教室ゾーン30の設置 交通安全施設整備を協力し実施する	飯田警察署・長野県公安委員会(情報提供・交通規制・講習)道路管理者(施設改善)まちづくり委員会交通指導員(広報・啓発・街頭指導)

当事者目標を実現する経費(該当する事務事業の総額) (千円)				
当事者目標(番号)	事務事業名	主管課	当初予算事業費	当初予算一般財源
(1)	防災対策推進事業	危機管理室	80,743	38,453
(2)	非常備消防事業	危機管理室	207,460	175,138
(3)	交通安全施設整備事業	危機管理室	15,425	15,425
(3)	交通安全事業	危機管理室	1,375	1,375
		計	305,003	230,391

<b>③ 緊急・災害時の情報伝達や収集機能の向上</b>	
◇ 避難情報をはじめとした災害から命を守る行動の情報伝達について、土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)の住民に1時間をめどに確実に伝えるようにします。 ◇ 災害時等に避難情報や被害状況を市民に迅速、確実に伝達するための、防災行政無線の更新整備を進めます。	
主管課／主な関係課 危機管理室／ムトスマちづくり推進課	

当事者目標 番号／ア. 何を／イ. いつまでに／ウ. どのような状態にする	取組のポイント	連携する団体 及び期待する役割
(1) ア 土砂災害警戒区域内の住民に イ 2回の訓練に ウ 連絡網を確認し、対象者全てに連絡する	6月に実施する土砂災害防災訓練までに連絡網の見直し、情報伝達時間の記録化を行う	市民(連絡の確認)自主防災組織(連絡体制確保)
(2) ア 防災行政無線 イ 年度中に ウ 実施設計完了 整備計画の提案を行う	実施設計発注 成果品の納入を受け、計画の調整を行う	飯田エフエム放送(株)(事業調整)飯田ケーブルテレビ(事業調整)自主防災組織(意見とりまとめ)

当事者目標を実現する経費(該当する事務事業の総額) (千円)				
当事者目標(番号)	事務事業名	主管課	当初予算事業費	当初予算一般財源
(1)(2)	防災対策推進事業	危機管理室	80,743	38,453
		計	80,743	38,435

④ 災害時にも都市機能が維持できる社会基盤の戦略的強靱化	
<p>◇ 緊急輸送路・避難路の確保に必要な道路施設、地域を水害から守る河川施設の長寿命化、耐震化整備、排水路整備を行います。また、緊急避難場所となる公園の修繕、整備を行います。</p> <p>◇ 生活を支える上下水道管路及び施設の更新整備を行います。</p>	
主管課/主な関係課	
土木課、水道課/管理課、地域計画課、国県リニア事業課、経営管理課、下水道課、下水浄化センター、危機管理室	

当事者目標 番号/ア. 何を/イ. いつまでに/ウ. どのような状態にする	取組のポイント	連携する団体 及び期待する役割
(1) ア 緊急輸送路に関わる橋りょうについて イ 平成31年度までに ウ 55橋の長寿命化を図る	橋りょう長寿命化修繕工事 橋りょう耐震整備工事 道路定期点検業務 道路危険箇所点検業務	
(2) ア 河川災害危険箇所及び集中豪雨危険箇所について イ 年度内に ウ 対策工事を行う	河川自然災害防止工事 排水路整備工事	
(3) ア 緊急避難場所となる都市公園について イ 平成31年度までに ウ 危険施設の修繕整備を完了する	公園整備工事	愛護会(通常の維持管理、情報提供)
(4) ア 妙琴浄水場の浄水施設について イ 平成32年度までに ウ 第1期更新整備を行う	土工・仮設工事 建築工事着工 機械・電気設備工事着工	

当事者目標を実現する経費(該当する事務事業の総額) (千円)				
当事者目標(番号)	事務事業名	主管課	当初予算事業費	当初予算一般財源
(1)(2)	防災・安全対策事業	土木課	690,540	92,740
(3)	公園整備事業	土木課	42,700	6,700
(4)	浄水施設更新整備事業	水道課	779,000	145,146
		計	1,512,240	244,586

## 指標補足事項

## ●進捗状況確認指標

- ・市民が備える防災力(自助力)を測定する指標として、防災訓練への参加者数とし、平成32年度の目標値を、市民の半数以上が参加することを目指し55,000人とした。
- ・「長寿命化計画緊急輸送路関連橋りょうの修繕工事完了数(橋りょう)」は、平成24年度に策定した橋りょう長寿命化修繕計画で修繕を計画している114橋のうち、緊急輸送路関係する橋りょう数。

## ●当事者目標

- ・①-(1)地滑り警戒区域等の指定されたハザードマップ更新の5地区(上久堅、千代、三穂、山本、鼎)
- ・①-(2)避難行動支援者約3800名を対象に設定
- ・②-(1)市内20地区の自主防災組織における、避難所開設訓練の実施
- ・②-(2)飯田市消防団条例における団員定数を目標として設定、年約30名の増員
- ・②-(3)市内における高齢者事故発生件数、H28年約180件の半減を目標として設定
- ・③-(1)土砂災害特別警戒区域に居住の全世帯約1100戸を対象として目標設定
- ・③-(2)防災行政無線の子局1108箇所を含めた整備計画の提案
- ・④-(1)緊急輸送路に関係する長寿命化修繕工事完了橋りょう数。
- ・④-(2)対策工事を実施した危険箇所数。
- ・④-(3)全都市公園(35公園)のうち公園施設長寿命化工事が完了した都市公園数。
- ・④-(4)水道ビジョン、水道事業経営戦略に基づき、計画的に更新を実施。

<b>基本目標</b>	<b>12 リニア時代を支える都市基盤を整備する</b>
<b>戦略 (考え方)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ リニア中央新幹線の整備効果を地域振興にいかすため、その基盤となるリニア駅周辺、座光寺スマートインターチェンジの整備を市民合意形成や協議のプロセスを重要視し、生活環境や自然環境への配慮を踏まえ着実に進めます。</li> <li>◆ リニア時代を見据えた地域公共交通と情報基盤の整備を進めます。</li> </ul>

**進捗状況確認指標**

指標(単位) 把握方法	基準		進捗		目標
	H28	H29	H30	H31	H32
リニア駅周辺整備事業の基本設計完了(年度)	-	-	-	-	30
市民バス・乗合タクシーの利用者数増加率(%)	5.00	-	-	-	20

**29年度戦略(具体的な取組)**

**① 「信州・伊那谷の個性で世界を惹きつけ、世界へ発信する玄関口」としてのリニア駅周辺の整備**

- ◇ 高度なトランジット・ハブ(交通結節点)機能を備える広域交通の拠点を整備します。(JR飯田線への乗換新駅設置を含む。)
- ◇ 信州・伊那谷らしさを感じることができるようなリニア駅周辺の景観・環境・魅力づくりを進めます。

**主管課/主な関係課**

リニア整備課/土木課、国県リニア事業課、地域計画課、管理課、土地開発公社、環境モデル都市推進課、企画課、観光課、農業課、農業委員会、生涯学習・スポーツ課、リニア推進課

当事者目標 番号/ア.何を/イ.いつまでに/ウ.どのような状態にする	取組のポイント	連携する団体 及び期待する役割
(1) ア リニア駅周辺整備基本設計 イ H30年度 ウ 完了する	・長野県と連携を図り事業化を見据えた基本設計を進める。	北条地区(連携) 長野県(助言、連携)
(2) ア リニア駅周辺の景観・環境・魅力づくりについて イ 年間を通して ウ 検討を進め駅周辺整備基本設計及びデザインへ反映できるよう取り組む	・検討組織による多面的な議論により、景観や環境、魅力発信の方策、デザイン等を基本設計に反映させる。	検討組織(計画検討) 地域関係者(連携) 広域連合(連携) 長野県(連携)
(3) ア 用地測量、物件調査 イ H31年度 ウ 完了する	・地権者、北条地区、関係機関との連携により用地測量及び物件調査を進める。	地権者(協力) 北条地区(協力) 長野県(連携) JR東海(連携)

当事者目標を実現する経費(該当する事務事業の総額)				(千円)
当事者目標(番号)	事務事業名	主管課	当初予算事業費	当初予算一般財源
(1)(2)(3)	リニア駅周辺整備事業	リニア整備課	210,441	210,441
		計	210,441	210,441

<b>② 駅勢圏(駅の利用が見込まれる地域)拡大に向けた道路ネットワークの強化</b>
<p>◇ リニアの整備効果を広域的に波及させる上で必要となる、リニアの高速性をいかした道路ネットワークの強化を進めます。</p> <p>◇ 中央自動車道との連携を強化するとともに、三遠南信自動車道との相乗効果が発揮されるよう、座光寺SI C及びリニア駅周辺主要道路の整備を進め、リニア中央新幹線へのアクセス機能を向上させます。</p>
<b>主管課/主な関係課</b>
国県リニア事業課/土木課・リニア整備課

当事者目標 番号/A.何を/I.いつまでに/U.どのような状態にする	取組のポイント	連携する団体 及び期待する役割
<p>(1) <b>A</b> 座光寺スマートICの用地範囲・用地補償費 <b>I</b> 年度末 <b>U</b> 確定し、契約を進める(用地補償算定完了)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関と連携し設計をまとめ、用地測量及び物件調査を進める(建物1棟、他工作物・立木等)</li> <li>・地権者の立会を含む調査及び説明会を行い、用地取得を進める</li> </ul>	<p>中日本高速道路株式会社 (助言、連携) 地権者(協力)</p>
<p>(2) <b>A</b> 県事業に関係する市道改良計画 <b>I</b> 年度末 <b>U</b> 策定する</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県と連携し、ルートを検討を行い、地元調整を進め、設計をまとめる</li> </ul>	<p>長野県(助言、連携)</p>
<p>(3) <b>A</b> 長野県等のリニア関連事業の地元調整 <b>I</b> 年度内通して <b>U</b> 事業進捗を図る</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県と連携し、説明会の開催等を行い、地元の意見を伺い調整する</li> </ul>	<p>長野県(助言、連携) 座光寺、上郷地区(協力、連携)</p>
<p>(4) <b>A</b> 道路ネットワークの強化に向けた計画 <b>I</b> 年度末 <b>U</b> 具体的整備に向けた手法及びスケジュールを検討する</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な道路ネットワーク整備に向けた整備手法の検討</li> <li>・要望協議</li> </ul>	<p>長野県(助言、連携)</p>

当事者目標を実現する経費(該当する事務事業の総額)				(千円)
当事者目標(番号)	事務事業名	主管課	当初予算事業費	当初予算一般財源
(1)(2)	リニア関連道路整備事業	国県リニア事業課	177,109	14,809
(2)	県事業負担金	国県リニア事業課	50,000	26,200
(4)	道路ネットワーク整備事業	土木課	514,315	147,080
		計	741,424	188,089

<b>③ リニア時代を見据えた土地利用計画の策定</b>
<p>◇ 都市計画の根幹をなす土地利用について、地域住民の意向を十分に踏まえつつ、全市的さらにはより広域的な観点も踏まえて検討します。</p> <p>◇ 土地利用計画を踏まえ、居住者にとっては「住みやすく」、来訪者にとっては「魅力的な」地域を創造するための都市計画の見直しを行います。</p>
<b>主管課／主な関係課</b>
地域計画課／ムトスまちづくり推進課、リニア整備課、土木課、国県リニア事業課、農業課、企画課

当事者目標 番号／ア. 何を／イ. いつまでに／ウ. どのような状態にする	取組のポイント	連携する団体 及び期待する役割
<p>(1)</p> <p>ア 土地利用計画の変更</p> <p>イ 年度末までに</p> <p>ウ 見直し案をまとめる</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土地利用基本方針、景観計画の見直し案をまとめる</li> <li>・関係地区との協議を進める</li> <li>・リニアの整備の影響、効果を踏まえ検討する。</li> <li>・地元の計画検討へ支援対応する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長野県(連携)</li> <li>・まちづくり委員会(連携、協力)</li> </ul>
<p>(2)</p> <p>ア 都市計画の変更</p> <p>イ 年度末までに</p> <p>ウ 見直し案をまとめる</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リニア関連事業の手法や進捗との整合及び関係機関、地区との協議</li> <li>・既存不適格調査</li> <li>・見直し検討開始地区において、準備会等支援対応する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長野県(連携)</li> <li>・まちづくり委員会(連携、協力)</li> </ul>

当事者目標を実現する経費(該当する事務事業の総額)				(千円)
当事者目標(番号)	事務事業名	主管課	当初予算事業費	当初予算一般財源
(1)	土地利用計画推進事業	地域計画課	1,488	1,488
(2)	都市計画推進事業	地域計画課	18,111	17,901
		計	19,599	19,389

<b>④ リニア事業に関連する社会基盤の整備</b>	
◇ リニア事業により影響を受ける道水路の機能回復確保のための整備を行います。	
◇ 代替地整備を始めとする移転対象者への対応に取り組みます。	
主管課／主な関係課	
リニア推進課／リニア整備課、土木課、管理課、国県リニア事業課、地域計画課、水道課、下水道課	

当事者目標 番号／ア. 何を／イ. いつまでに／ウ. どのような状態にする	取組のポイント	連携する団体 及び期待する役割
(1) ア リニアにより影響を受ける道水路について イ 年度末までに ウ 用地測量等が完了している状態にする。	・地権者を始めとする関係者、関係地区及び関係機関との協議、協力を得ながら計画を策定、必要な測量設計を進める。	・関係地区(上郷、座光寺)(連携) ・長野県(助言、連携) ・JR東海(連携)
(2) ア 代替地 イ 年度末までに ウ 整備計画が策定されている状態にする	・地権者を始めとする関係者、関係地区及び関係機関との協議、協力を得ながら、整備計画を取りまとめる。	・関係地区(上郷、座光寺地区)(連携) ・長野県(助言、連携) ・JR東海(連携)

当事者目標を実現する経費(該当する事務事業の総額) (千円)				
当事者目標(番号)	事務事業名	主管課	当初予算事業費	当初予算一般財源
(1)(2)	リニア推進事業	リニア推進課	196,110	96,110
		計	196,110	96,110

<b>⑤ リニアの二次交通の構築及び持続可能な地域公共交通の実現</b>	
◇ リニアの駅勢圏拡大に必要な二次交通の整備について、広域的な観点も踏まえた検討を行います。	
◇ 利用者視点や将来的なまちづくり方針等を勘案しつつ、持続可能な地域公共交通システムを構築・運用します。	
主管課／主な関係課	
リニア推進課／地域計画課、商業・市街地活性課、ムトスまちづくり推進課、リニア整備課	

当事者目標 番号／ア. 何を／イ. いつまでに／ウ. どのような状態にする	取組のポイント	連携する団体 及び期待する役割
(1) ア リニア時代に向けた二次交通のあり方について イ 年間通じて ウ 将来を展望した検討や検証、課題の整理を行う	・リニア関連計画を踏まえつつ、将来のあり方等を検討する ・駅周辺整備計画との連携を図る	長野県(連携) 交通事業者(連携) 伊那谷自治体会議(連携) JR飯田線活性化期成同盟会(連携)
(2) ア 持続可能な地域公共交通の在り方 イ 年間通じて ウ 関係機関とともに検討し、再構築する	地域公共交通改善市民会議とともに利用者の意向の把握、課題整理を行い、運行体系の再確認・検討、見直しを進める	南信州広域連合(連携) 地域公共交通改善市民会議(連携) 利用者・地元団体(連携) 交通事業者(連携)

当事者目標を実現する経費(該当する事務事業の総額) (千円)				
当事者目標(番号)	事務事業名	主管課	当初予算事業費	当初予算一般財源
(1)	交通体系整備事業	リニア推進課	101,345	60,972
		計	101,345	60,972



<b>⑥ リニア時代を見据えたICTの活用とその基盤の整備</b>	
◇ 交流人口の拡大、産業振興に向けて、ICTを活用した新技術導入の検討を進めます。	
◇ ICTを活用するための良好な情報環境基盤の整備を進めます。	
主管課／主な関係課	
IIDAブランド推進課／産業振興課、商業・市街地活性化課、観光課、ムトスまちづくり推進課、危機管理室	

当事者目標 番号／ア. 何を／イ. いつまでに／ウ. どのような状態にする	取組のポイント	連携する団体 及び期待する役割
ア 人の流れを創り出すICTの活用方針 イ 年度末までに (1) ウ 外部の専門家と一緒に検討する	・人の流れを創り出すためのICT活用方針を外部の専門家と一緒に検討する	有識者・専門家(助言) ICTに関連する事業者(助言、検討)

当事者目標を実現する経費(該当する事務事業の総額)				(千円)
当事者目標(番号)	事務事業名	主管課	当初予算事業費	当初予算一般財源
(1)	シティプロモーション推進事業	IIDAブランド推進課	7,838	7,838
		計	7,838	7,838

<b>指標補足事項</b>	
<p>●進捗状況確認指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リニア駅周辺整備事業について、平成30年度末の基本設計完了を指標とする。</li> <li>・市民バス及び乗合タクシーの利用者数について、平成28年度に比較し4年間の増加率20%を指標とする。</li> </ul> <p>【進捗状況確認指標の基準の根拠】</p> <p>「市民バス・乗合タクシーの利用者数増加率」は、基準(H28)に把握可能な指標は、過去3年間のバス・乗合タクシーの利用者数の増加率の平均値。目標(H32)に把握可能な指標はH28に対するH32の予測数値。</p>	